

北海道の子ども 状況報告

～チャイルドラインに届いた声から～

2016～2020 年度 5年間のまとめ



認定 NPO 法人

チャイルドラインほっかいどう

目 次

| | |
|---|----|
| I. はじめに..... | 1 |
| II. 2016～2020 年度のデータ集計..... | 1 |
| 1. データについて | 1 |
| 2. 北海道内からの発信・着信件数の推移..... | 1 |
| 3. 着信概要 5年間の推移 | 3 |
| 1) 着信状況..... | 3 |
| 2) 性別・年齢の推移（会話成立から不明を除く） | 6 |
| 4) 電話の内容 | 7 |
| 4. 北海道と全国との比較 | 18 |
| III. チャイルドラインカードの配布状況..... | 19 |
| IV. 北海道内地域別 発信数と着信数（NTTトラフィックデータより） | 20 |
| 1. 北海道内地域別発信数 | 20 |
| 2. 北海道内地域別着信数 | |
| V. カードの紹介 | 22 |
| VI. チャイルドラインほっかいどう 活動紹介..... | 23 |
| 1. 設立から現在まで..... | 23 |
| 2. 電話受信体制状況..... | 23 |
| 3. 会員数（年度末3月31日時点） | 24 |
| 4. 決算状況 | 25 |

I. はじめに

平素よりチャイルドラインほっかいどうの活動にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

2016～2020年度に全国のチャイルドラインに寄せられた「北海道の子ども」の声を5年間のデータとしてまとめさせていただきました。

5年間の北海道の子どもからの発信は78,211件、そのうち着信は29,435件（NTTデータより）で会話成立（話ができた）は11,249件（入力データより）でした。

チャイルドラインほっかいどうでは、5年間に全国から電話を受け31,714件の着信、その中で会話成立は7,034件（北海道分1,559件13.9%）でした。5年間のデータ集計の理由は、2016年度からデータベースの改定が行われ、集計項目が同一のためです。北海道の子どもの電話内容の推移や状況をまとめ確認するとともに、今後の体制強化に努めながら研修を重ねていき「子どもに寄り添う活動」を継続していきたく存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

II. 2016～2020年度のデータ集計

1. データについて

チャイルドラインのデータには2種類あります。

①NTTコミュニケーションズ株式会社のトラヒック集計サービスツールからの取得データ

（チャイルドライン支援センター提供）

②実施団体（全国39都道府県68団体が連携して運営）の受信入力データ

チャイルドラインで受け手が子どもの声とともに感じた情報を子どもが特定できないよう加工したうえでのデータを集約しています。

（チャイルドライン独自のシステムより集約）

※①、②では、数値が異なります。

NTTデータでは着信件数に挙がっても、受信団体側で「すぐ切れた」（受話器を取ったが切れていた）などの場合は着信件数に上げない場合があるためですので、ご了承ください。

2. 北海道内からの発信・着信件数の推移

発信件数（NTTトラヒックデータより）

5年間合計78,211件（年平均15,642件、月平均1,304件）

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 2016 | 1,351 | 1,906 | 1,643 | 1,872 | 1,840 | 2,580 | 1,923 | 2,224 | 1,992 | 1,036 | 1,758 | 2,288 | 22,413 |
| 2017 | 1,602 | 1,659 | 1,576 | 1,633 | 1,569 | 2,173 | 1,649 | 1,636 | 970 | 598 | 839 | 1,080 | 16,984 |
| 2018 | 940 | 798 | 1,553 | 1,584 | 1,058 | 766 | 1,003 | 1,156 | 1,099 | 1,150 | 972 | 574 | 12,653 |
| 2019 | 784 | 1,034 | 1,072 | 988 | 996 | 1,020 | 2,262 | 1,148 | 766 | 691 | 889 | 800 | 12,450 |
| 2020 | 3,069 | 2,109 | 1,107 | 561 | 676 | 801 | 626 | 1,035 | 1,238 | 703 | 924 | 862 | 13,711 |
| 合計 | 7,746 | 7,506 | 6,951 | 6,638 | 6,139 | 7,340 | 7,463 | 7,199 | 6,065 | 4,178 | 5,382 | 5,604 | 78,211 |

<発信件数に関して>

○子どもの人口の減少、家庭の固定電話の減少、フリーダイヤルに繋がらない携帯端末契約、知らない人との音声通話はオンラインより敷居が高いなどの理由から子どもの電話離れが年々増えているが、一定数の発信件数があるのは「誰かに聞いてもらいたい」「匿名だから話せる」と思う子どもがいるからと考えられる。

○2016年度までであった「大人とわかる頻回電話」に対して、2017年度から「妨害電話対策」（一定期間着信拒否 NTT 対策）が取られたため減少している。

○チャイルドラインカードが子どもの手に届く時期以降に、発信数は増える。

2018年度：10月 2019年度：9月 2020年度：11月

○2020年度は前年度より発信件数が増加しているが、コロナ禍における全国の実施体制の縮小が影響している。（実施時間、回線の減少により繋がらないことが理由で何度も発信する）

着信件数①（NTTトラフィックデータより）

5年間合計 29,435件 年平均 5,887件、月平均 491件

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 2016 | 505 | 683 | 586 | 657 | 617 | 625 | 692 | 774 | 1,004 | 539 | 841 | 1,202 | 8,725 |
| 2017 | 811 | 795 | 688 | 633 | 558 | 639 | 862 | 758 | 480 | 251 | 380 | 492 | 7,347 |
| 2018 | 490 | 368 | 726 | 581 | 404 | 275 | 432 | 416 | 347 | 380 | 475 | 203 | 5,097 |
| 2019 | 389 | 454 | 502 | 483 | 511 | 504 | 738 | 442 | 252 | 272 | 396 | 272 | 5,215 |
| 2020 | 262 | 184 | 310 | 175 | 211 | 251 | 233 | 323 | 357 | 146 | 254 | 345 | 3,051 |
| 合計 | 2,457 | 2,484 | 2,812 | 2,529 | 2,301 | 2,294 | 2,957 | 2,713 | 2,440 | 1,588 | 2,346 | 2,514 | 29,435 |

着信件数②（実施団体入力データより）

5年間合計 25,112件 年平均 5,022件 月平均 419件

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 2016 | 430 | 564 | 472 | 572 | 549 | 555 | 617 | 655 | 655 | 464 | 632 | 841 | 7,006 |
| 2017 | 591 | 588 | 504 | 459 | 496 | 593 | 773 | 694 | 457 | 225 | 346 | 465 | 6,191 |
| 2018 | 440 | 338 | 565 | 500 | 374 | 272 | 410 | 392 | 323 | 337 | 437 | 191 | 4,579 |
| 2019 | 359 | 429 | 457 | 455 | 470 | 475 | 617 | 394 | 230 | 242 | 326 | 241 | 4,695 |
| 2020 | 235 | 169 | 271 | 162 | 196 | 185 | 193 | 295 | 342 | 135 | 201 | 257 | 2,641 |
| 合計 | 2,055 | 2,088 | 2,269 | 2,148 | 2,085 | 2,080 | 2,610 | 2,430 | 2,007 | 1,403 | 1,942 | 1,995 | 25,112 |

<①と②の着信件数に関して>

※着信件数①と②では、5年間で4,323件の差があり、月平均では360件ほどでデータの差が大きい。

理由は「1.データについて」で表わしたように着信しても入力に至らない件数と考えられる。

○着信率

| 年度 | ①NTT 調べ | ②団体入力 |
|---------|---------|-------|
| 2016 年度 | 38.9% | 31.3% |
| 2017 年度 | 43.3% | 36.5% |
| 2018 年度 | 40.3% | 36.2% |
| 2019 年度 | 41.9% | 37.7% |
| 2020 年度 | 22.3% | 19.3% |

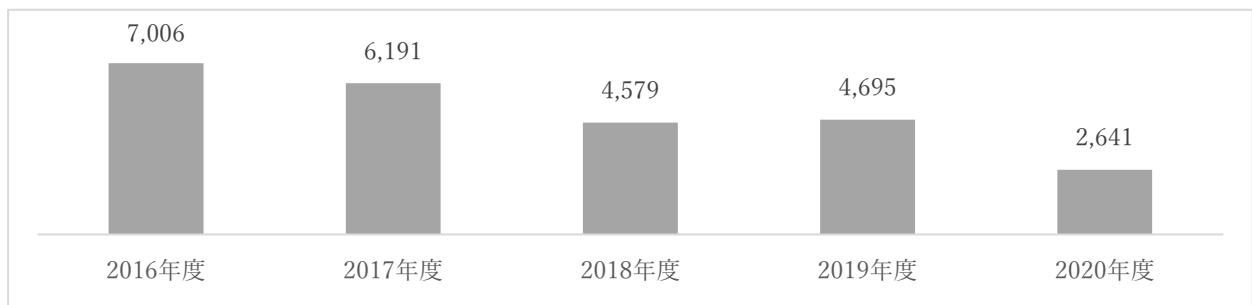
①と②では、7.6%～3%の差がある。

受け手が電話を取っても、既に切れた状態や、すぐ切れて情報が取れない状態が2016, 2017年度に多かったといえる。予想される背景として、「かけてみた」「つながるとは思わなかった」と感じた子どももいると考えられるが「いたずら」「お試し」なども一定数あると思われる。

3. 着信概要 5年間の推移 ※以後、団体入力データより集計

1) 着信状況

年度別着信件数 (5年間合計 25,112件)



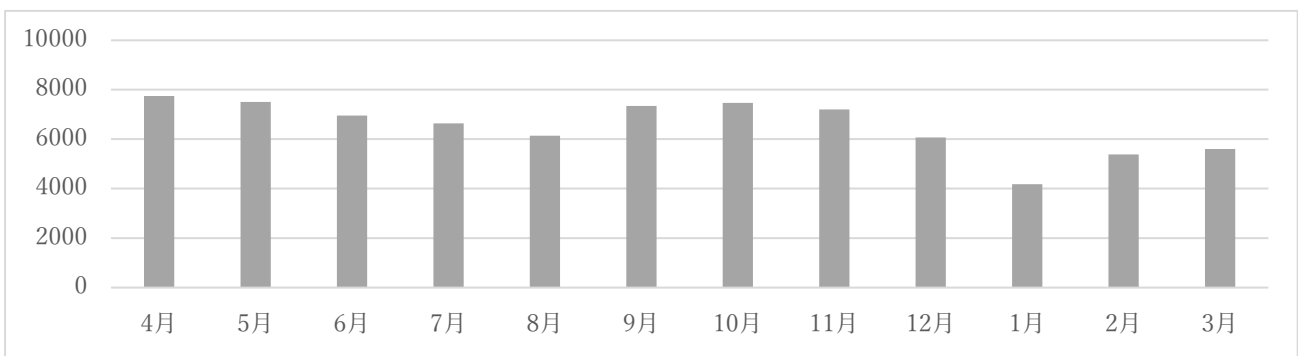
○2017年度から妨害電話対策が取られたため、発信数と共に全体の着信数が減少している。

○2020年度の減少は、コロナ禍における影響の有無は明確ではないが、家に誰かがいることにより音声通話がしづらいことも予想される。

○回線数により、着信件数は変化するが、同時に混み合った場合などは繋がらず何度もかけることが予想され発信が多くなり、逆にすぐ繋がった場合は発信数が少なくなる。

○会話時間が長くなると全体の着信件数は減少し、短時間の会話や続かず切れてしまった場合件数が多いと着信率は増加する。

①5年合計月別着信件数

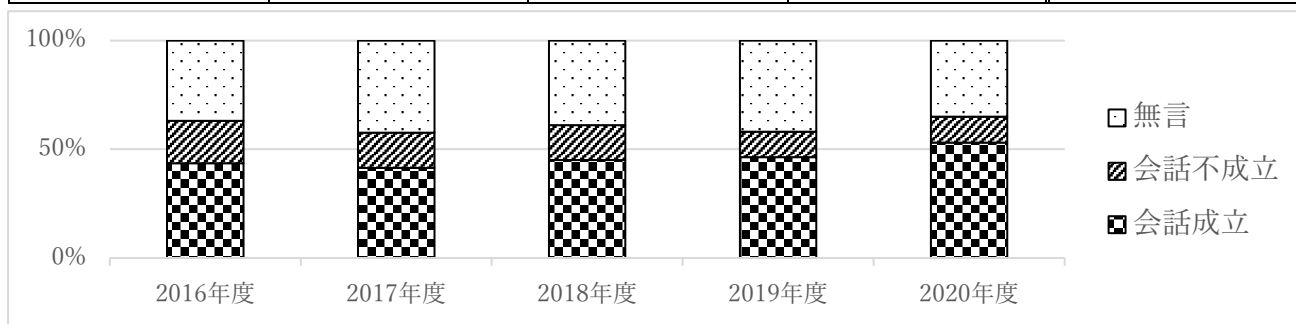


○年間で多いのは、4月～5月、9月～11月となっている。学校生活との関連が見られる。

○着信件数5年間の月別合計すると、学校の夏休み、冬休み期間は減少するが、背景として、学校での人間関係から一時的にでも離れられ、トラブルが軽減するためと考えられる。

②着信内容状況

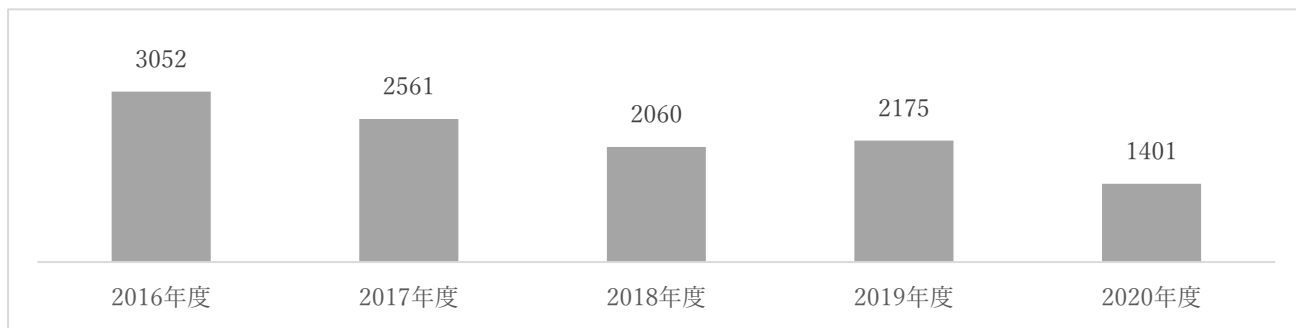
| 年度 | 会話成立 | 会話不成立 | 無言 | 合計 |
|------|--------|-------|-------|--------|
| 2016 | 3,052 | 1,366 | 2,588 | 7,006 |
| 2017 | 2,561 | 1,003 | 2,627 | 6,191 |
| 2018 | 2,060 | 737 | 1,782 | 4,579 |
| 2019 | 2,175 | 550 | 1,970 | 4,695 |
| 2020 | 1,401 | 315 | 925 | 2,641 |
| 合計 | 11,249 | 3,971 | 9,892 | 25,112 |



○会話成立は全体で年平均約 2250 件、46% 無言は 39%に上る。

○会話不成立 つながったが発語が一言のみや、会話ができず子どもの主訴が不明な場合。

年度別会話成立件数 (5年間合計 11,249 件)



○2020 年度はコロナ禍の為、電話が利用しづらい環境下（家に家族がいて電話しづらい）の可能性が考えられる。そのため発信件数は下がり着信率が上がり、繋がりやすくなり会話成立が伸びている。

○無言電話が多いのは、チャイルドの特徴ともいえ、子どもがカードを受け取った後お試しをすることも多かったり、なかなか話ができずに終了となったりすることが多い。

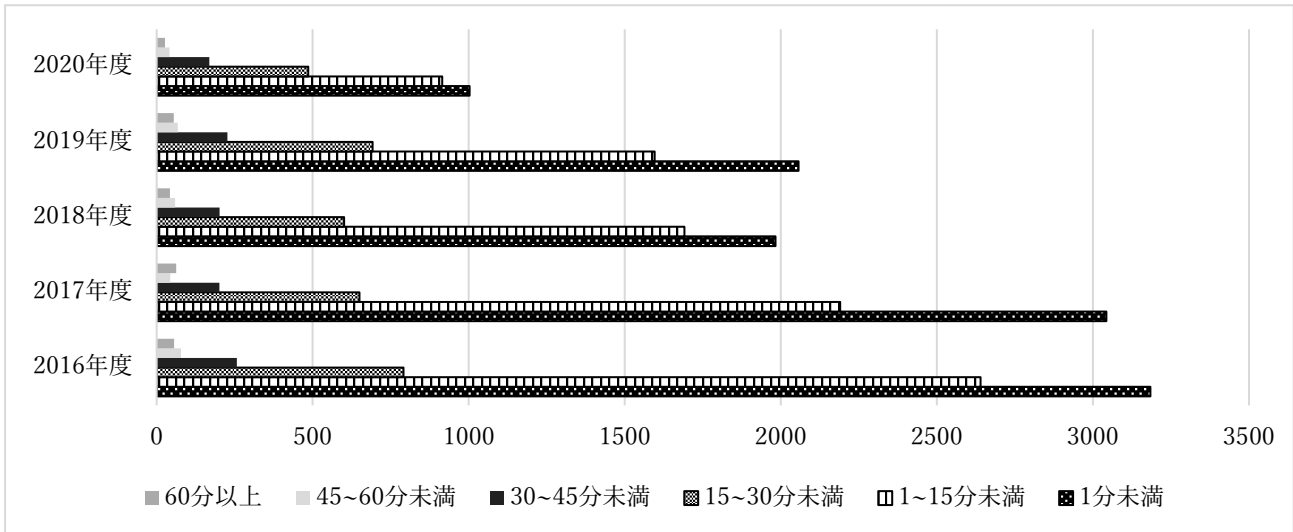
月別会話成立件数

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 2016 | 249 | 292 | 232 | 234 | 250 | 290 | 283 | 313 | 202 | 176 | 239 | 292 | 3,052 |
| 2017 | 208 | 224 | 203 | 161 | 210 | 287 | 231 | 374 | 223 | 127 | 145 | 168 | 2,561 |
| 2018 | 177 | 190 | 220 | 190 | 163 | 106 | 167 | 208 | 172 | 162 | 195 | 110 | 2,060 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|--------|
| 2019 | 168 | 178 | 202 | 210 | 206 | 176 | 352 | 191 | 121 | 108 | 119 | 144 | 2,175 |
| 2020 | 121 | 114 | 162 | 109 | 107 | 93 | 79 | 132 | 175 | 79 | 99 | 131 | 1,401 |
| 合計 | 923 | 998 | 1,019 | 904 | 936 | 952 | 1,112 | 1,218 | 893 | 652 | 797 | 845 | 11,249 |

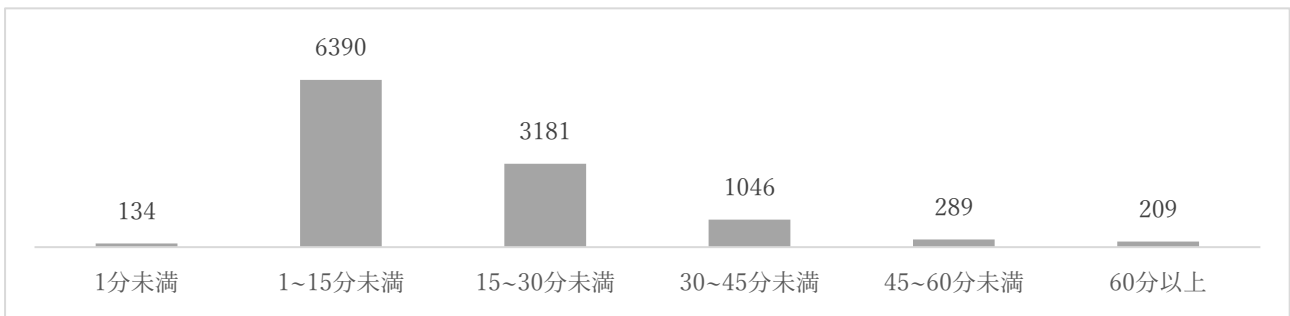
③通話時間

年度別



○ 2016・2017年度は1分未満の電話が多く着信件数が多くなっていることがわかる。

5年間合計



○会話成立の場合、15分未満が圧倒的に多い(56.8%)が、60分を超えるケースもある。

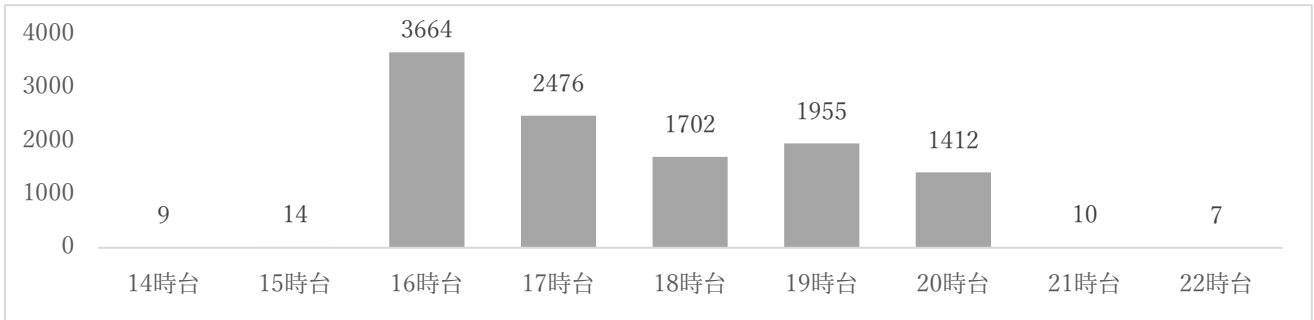
○45分以上は全体の4.4%。

④会話成立時の時間帯

○実施時間は、16~21時だが、16時開始時にアクセスが多いことが窺われる。

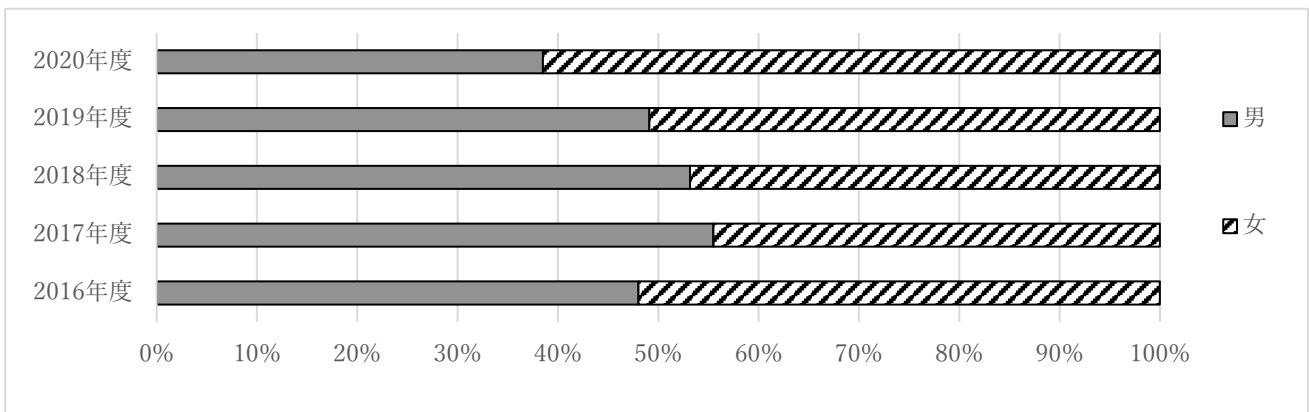
○16時から減少するが、19時台に再び増加する。これは子どもの生活時間(習い事・塾・夕食時間など)の影響が考えられる。

○地域により、23時までの実施団体があり、夏休み明けキャンペーン時には14時~23時まで実施。



2) 性別・年齢の推移（会話成立から不明を除く）

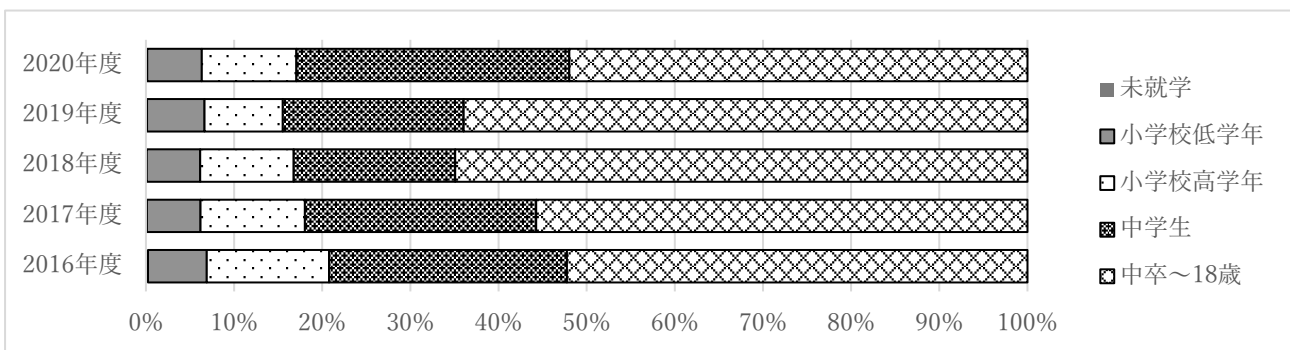
性別



○着信全件数 25,112 件中 性別入力は 男 7,858 件 (55.9%) 女 6,211 件 (44.1%) であるが、会話成立となると 11,259 件中 男 5,521 件 (49.7%) 女 5,592 件 (50.3%) となる。

○男子より女子の方が見知らぬ大人と話すことに対してハードルが低いと考えられる。

年齢



○年齢別では中卒～18歳が半数以上を占めているが小学校低学年も一定数あり、高学年が増えつつあることから、この年齢への携帯電話の普及が窺われる。(グラフは不明・無言を除く)

○未就学は、全体の0.1%だった。

3) 発信端末の推移 (会話成立の不明を除く)

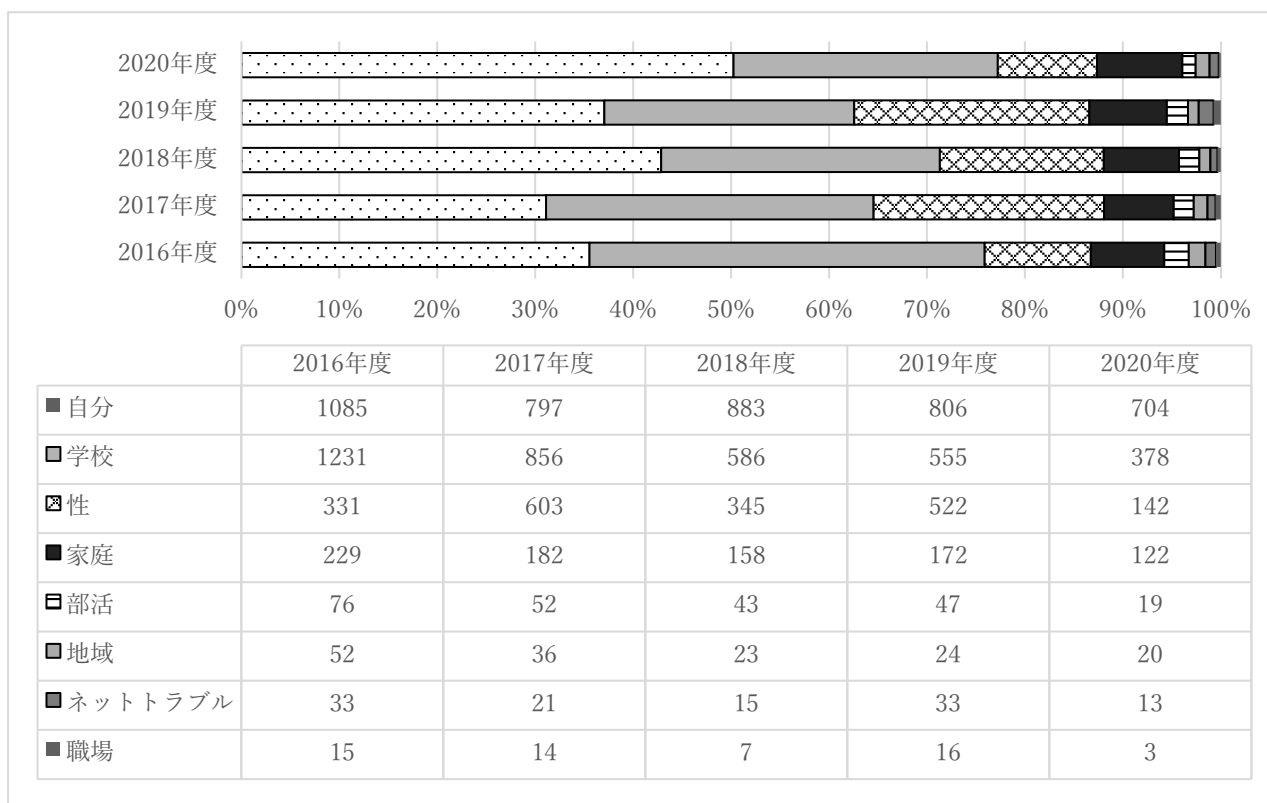
| 年度 | 携帯・PHS (%) | | 固定・公衆電話 (%) | | 不明 | 合計 |
|------|------------|-------|-------------|-------|----|-------|
| 2016 | 1,888 | 61.9% | 1,134 | 37.2% | 30 | 3,052 |
| 2017 | 1,752 | 68.4% | 779 | 30.4% | 30 | 2,561 |
| 2018 | 1,660 | 80.6% | 380 | 18.4% | 20 | 2,060 |
| 2019 | 1,679 | 77.2% | 473 | 21.7% | 23 | 2,175 |
| 2020 | 953 | 68.0% | 444 | 31.7% | 4 | 1,401 |

○2018年度に携帯・PHSが80.6%となったが、2020年度には固定・公衆電話が31.7%と増加しているのは、コロナ禍で在宅からの発信が増えたためかと思われる。

○家庭の固定電話の減少や公衆電話の撤去など、今後も携帯からが増加すると予想される。

4) 電話の内容

①主訴 (話の内容・子どもが話の中で主に訴えたもの、大きく8項目に分け集計している)

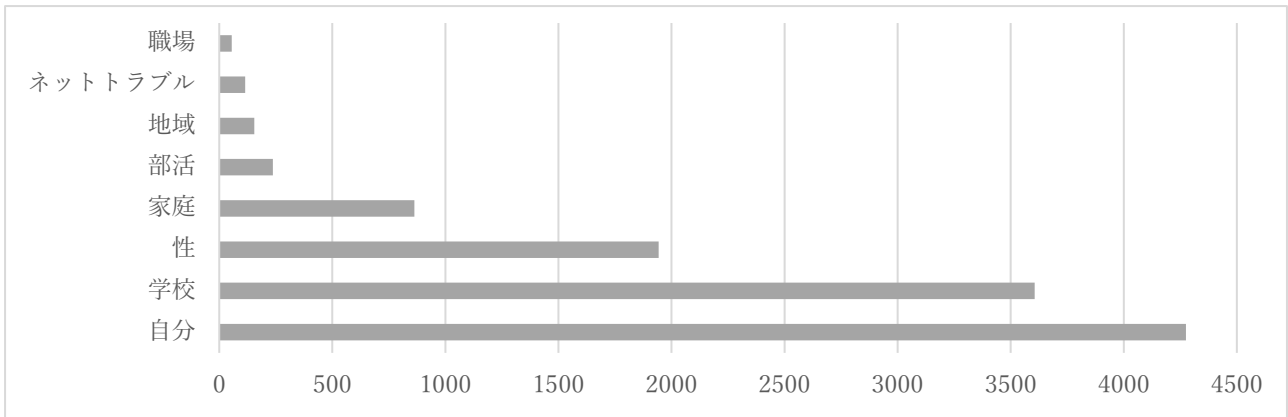


○総数 11,259 件 自分自身のことについての話 38.0% 学校での話 32.1%
性についての話 17.3% 家庭での話 7.7%

○毎年度、自分自身に関することが多い。学校でのことを合わせると60～80%近くになっている。2020年度は特に増加し学校を合わせると80%近くになる。

○家庭のことについても毎年度一定数認められる。

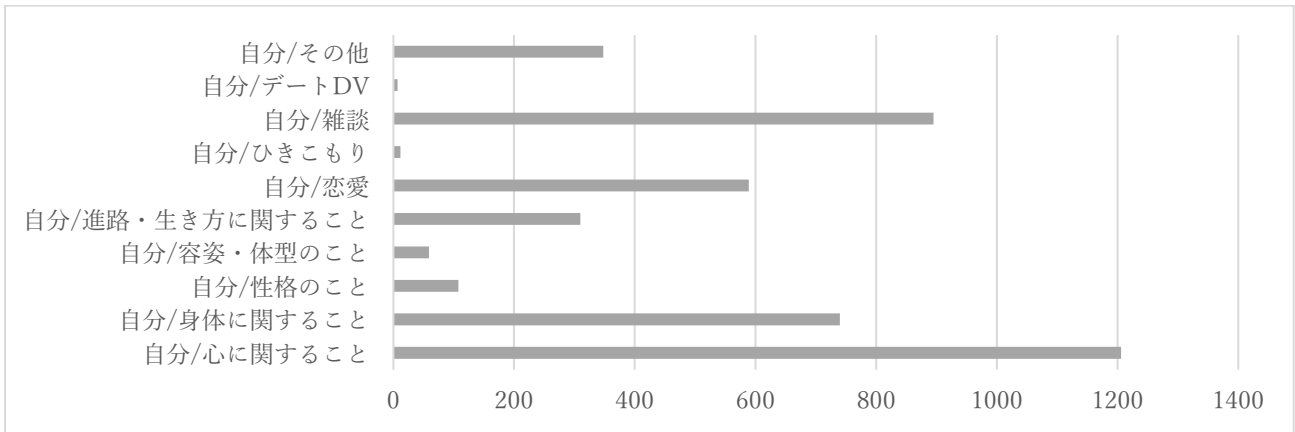
○性の急激な減少の理由として、一人で居る時ではないと話せない内容が多く、2020年度の減少がコロナ禍に関係しているのかは明確ではない。



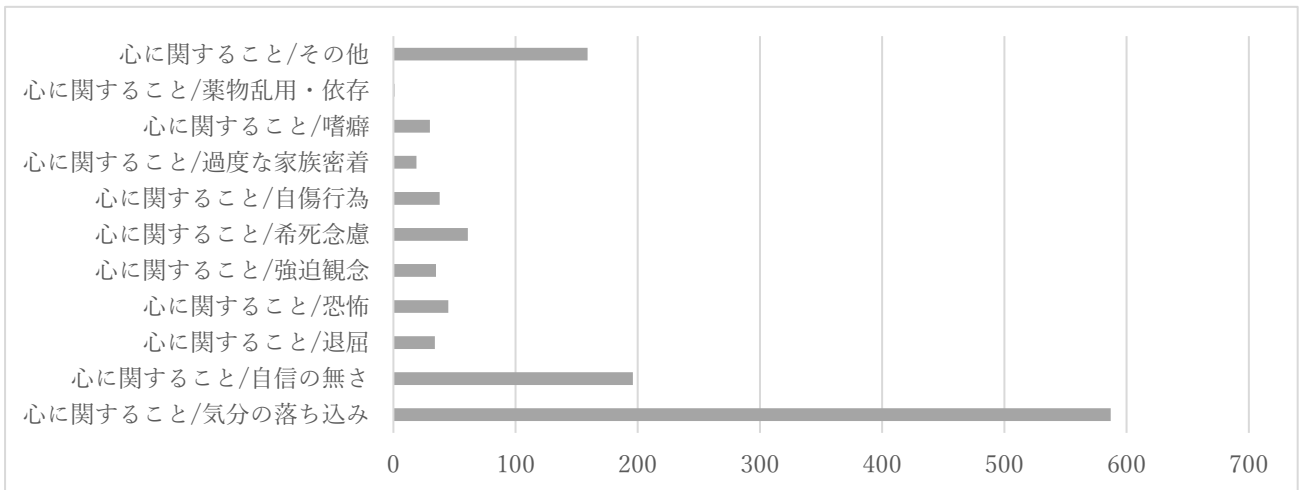
○自分自身の心理や身体のことトップで、次に学校でのことが話されている。

主訴の内容 (内訳) 数が多い「自分自身」「学校」「性」「家庭」の詳細を集計

○自分自身のこと 内訳 (4,275件より)

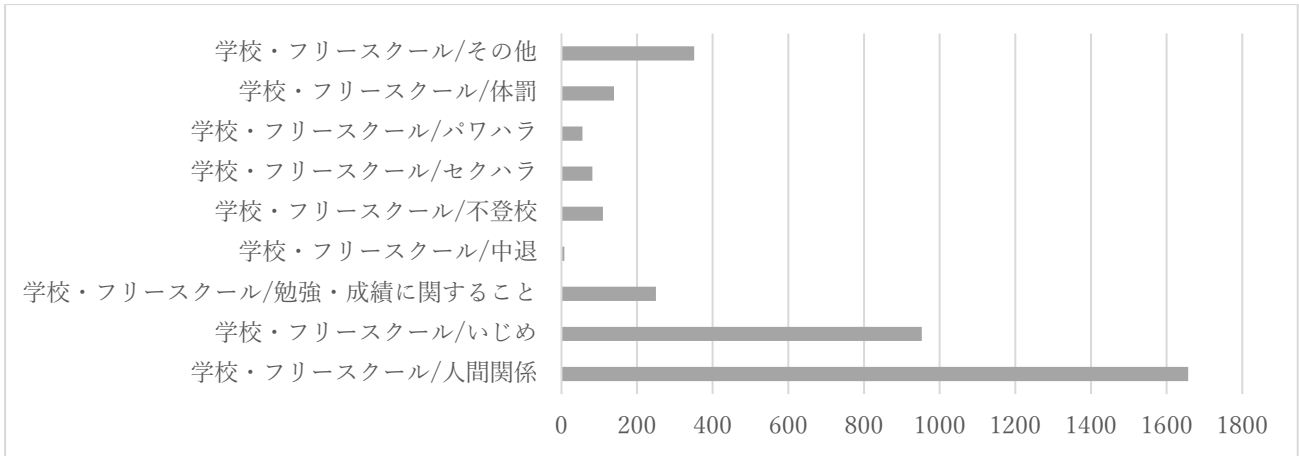


自分/心に関する事 内訳 (1,205件より)



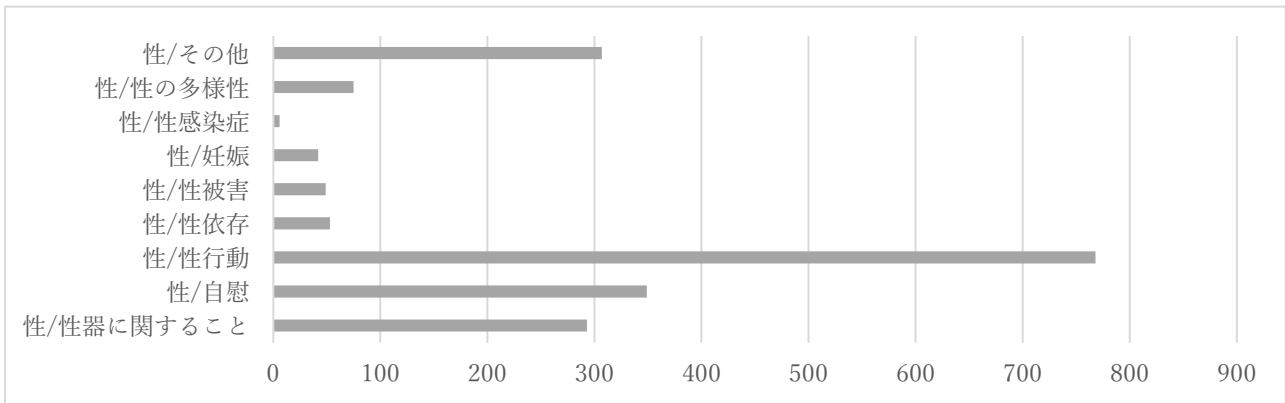
○自分自身については、心に関することが多く、その中でも気分の落ち込みが圧倒的に多い。

○学校についての話 内訳 (3,606件より)



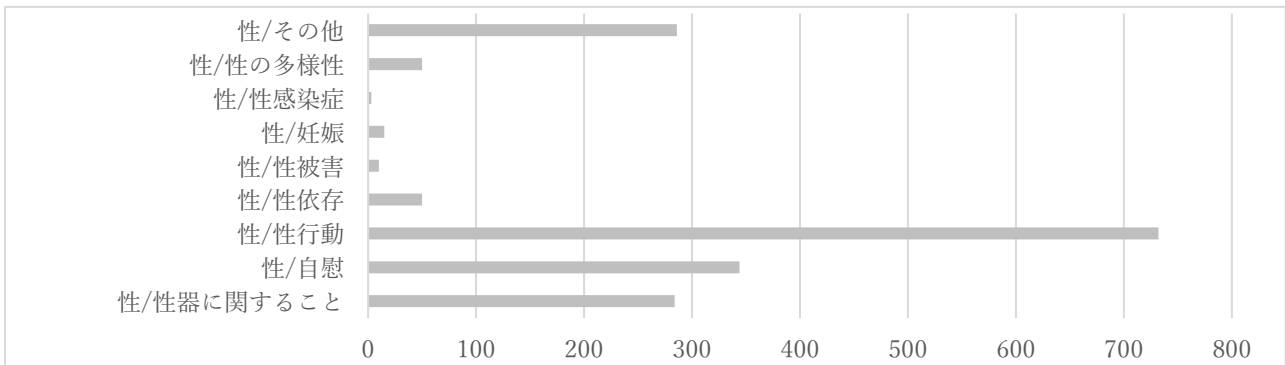
- 友だち、クラスメートなどの人間関係が多い。
- 子どもが「いじめ」と判断せず、トラブルと感じている場合は人間関係となる。
- いじめの詳細については、別項目に記載。

○性についての話 内訳 (1,943 件より)



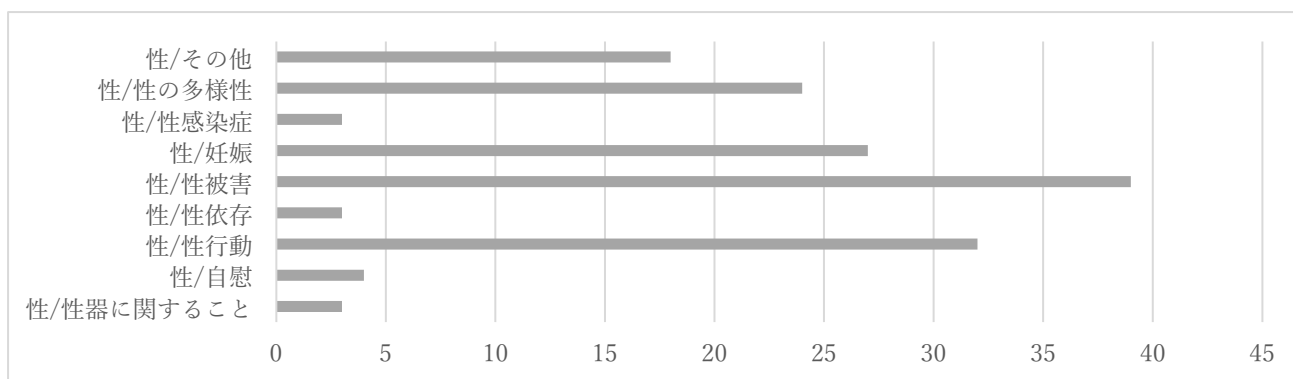
- 性については、全体で「性行動」と「自慰」が多いが性別に分けると、大きく異なる。
- 性別で、内容や件数が大きく異なる。

男子 (5 年間) (性別が明確な件数 1,174 件より)



- 男子では、性行動 62.4% 自慰 29.3% 性器に関して 24.2%と続き思春期の悩みが感じられる。
- 性について相談できる身近な人がいないことが考えられる。

女子（5年間）（性別が明確な件数 153件より）

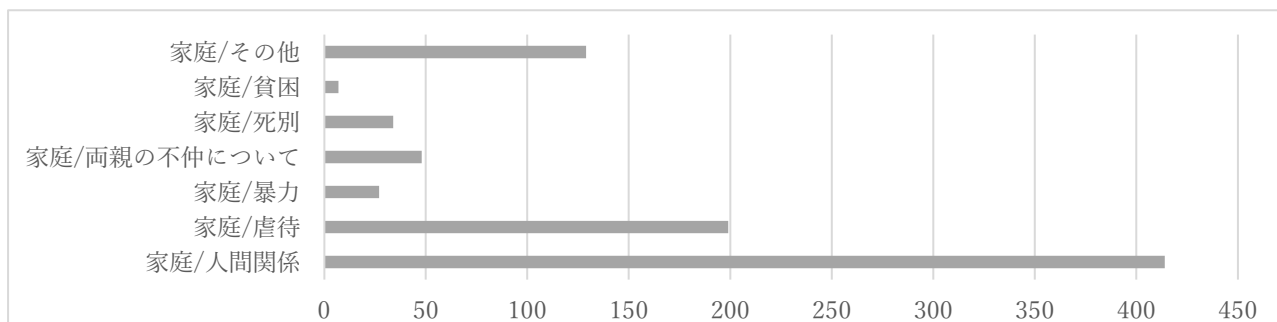


○女子は、性被害 25.8% 性行動 21.2% 妊娠 17.9% と続く。

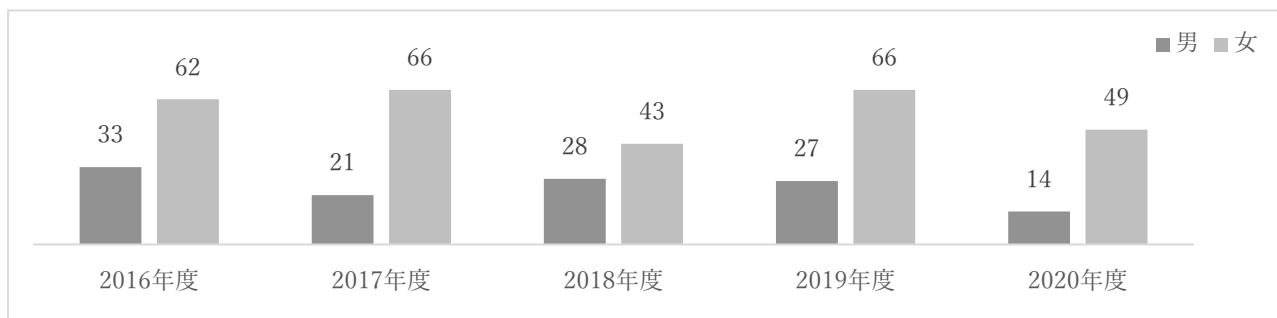
○女子の性被害 39件中、2016年度に32件、2017年度に6件あり、その後はなかった。

○性の多様性（LGBT など）は男子 4.3%に対して 女子は15.9%と高くなっている。

○家庭での話 内訳（863件より）



人間関係の男女別



○人間関係には、親子や兄弟・姉妹との関わりが入る。男子に比べると女子の方が2倍以上多い。

○両親の不仲について子ども自身が悩んでいることが多いのがわかる。

○虐待については、別項目に記載。

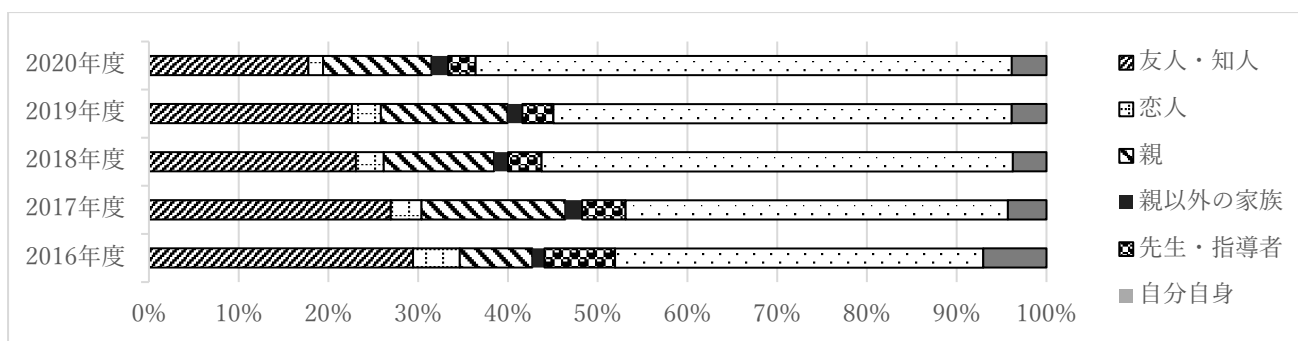
②関係性（子どもの話が誰とのことか）

○自分自身のことが一番多く 2020年度は59.4%になっている。子どもは自分自身を見つめようとしていることが窺われる。

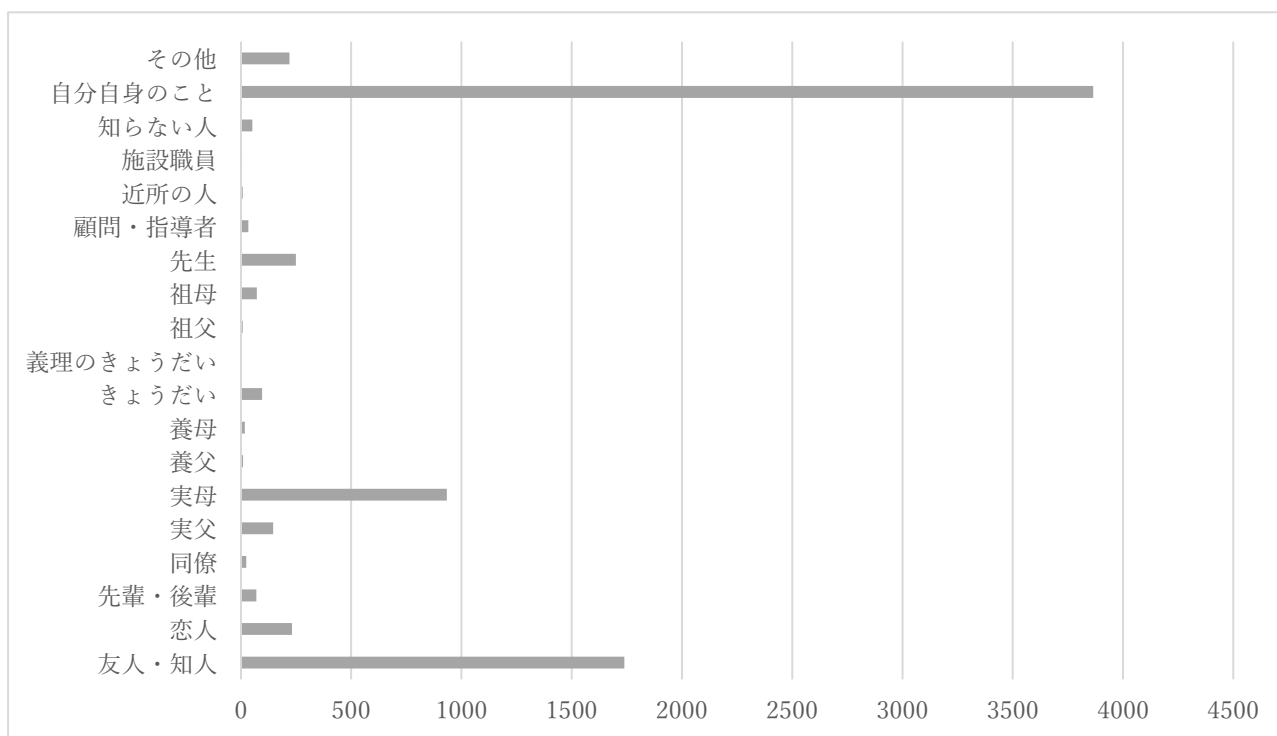
○2020年度に友人知人が減少したのは、コロナ禍によるのかもしれない。

友人・知人が減少し、自分自身が増えたことは、家庭等で一人になる時間が長くなり、その分自分を内

省する時間が増加、友人・知人に聞いてもらえた悩みや相談等の場が減りチャイルドラインにその気持ちを受け止めてもらいたい等の欲求があると考えられる。



5年間合計 (不明は除く)

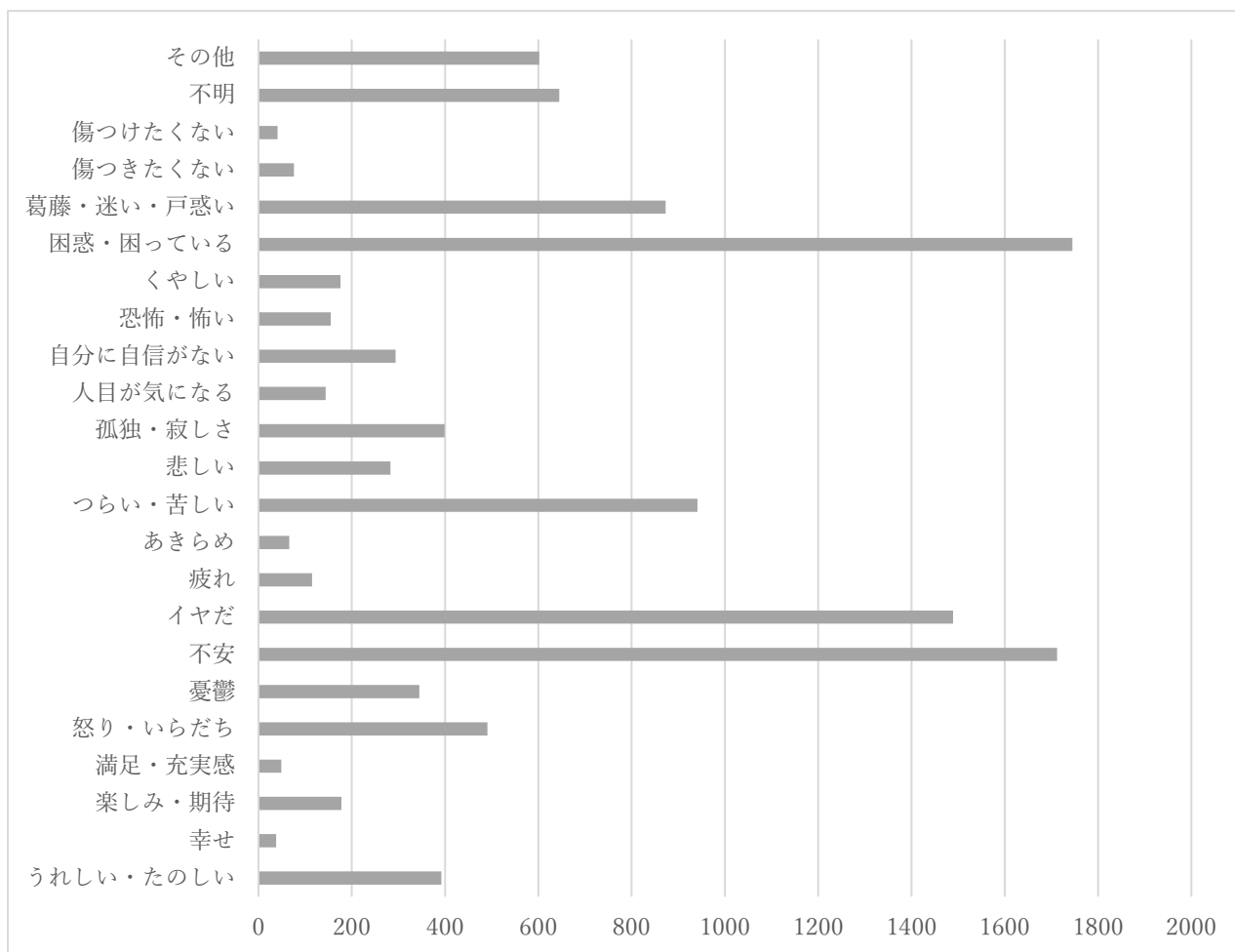


- 主訴が自分自身となると、関係性も自分自身となり圧倒的に多い。
- 学校、部活や放課後でも友人・知人との関係性が多くなっている。
- 家庭では実母が多く、次に実父、祖母と続く。

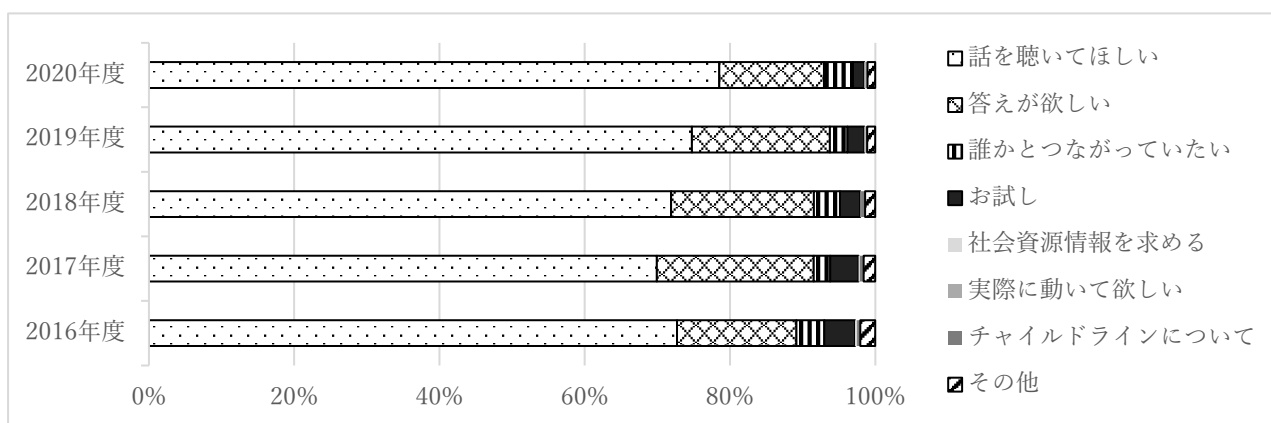
③気持ち (受け手が子どもから感じ取ったもの)

- チャイルドラインは困っていることだけでなく「なんでも気持ちを話していい」と伝えているので、時には「うれしい・たのしい」「幸せ」「楽しみ・期待」「満足・充実感」の気持ちを伝えてもらえることもある。総数 11,249 件中、657 件であり、5.8%となっている。
- 困惑・困っている、つらい・苦しい、イヤだ、不安を合わせると全体の 52.3%となり半数以上となる。
- 楽しい、うれしい等のポジティブな感情が 5.8%あり、「何を話してもいい」というチャイルドライン

の特徴となる。

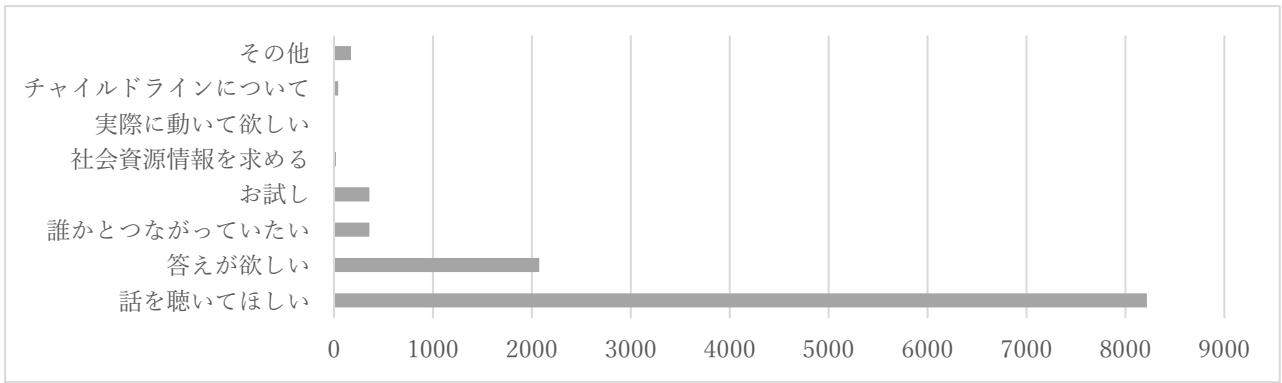


④動機 (どんな思いでかけてきたか受け手が受け取ったもの)

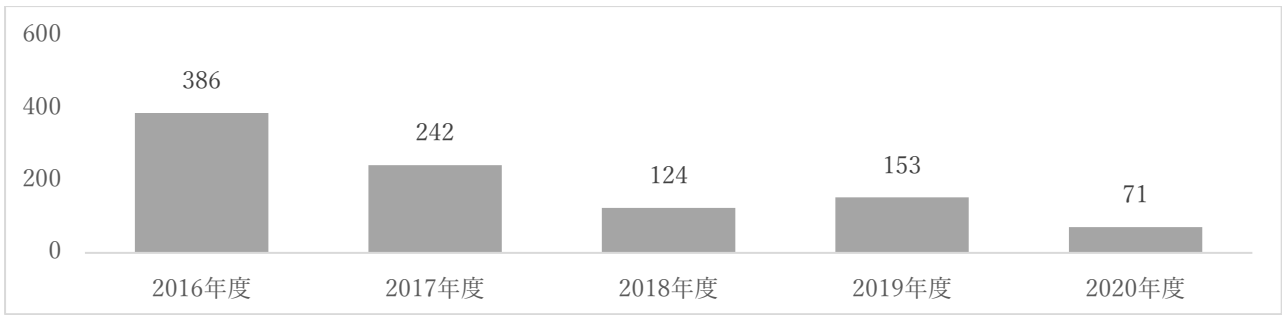


5年間合計

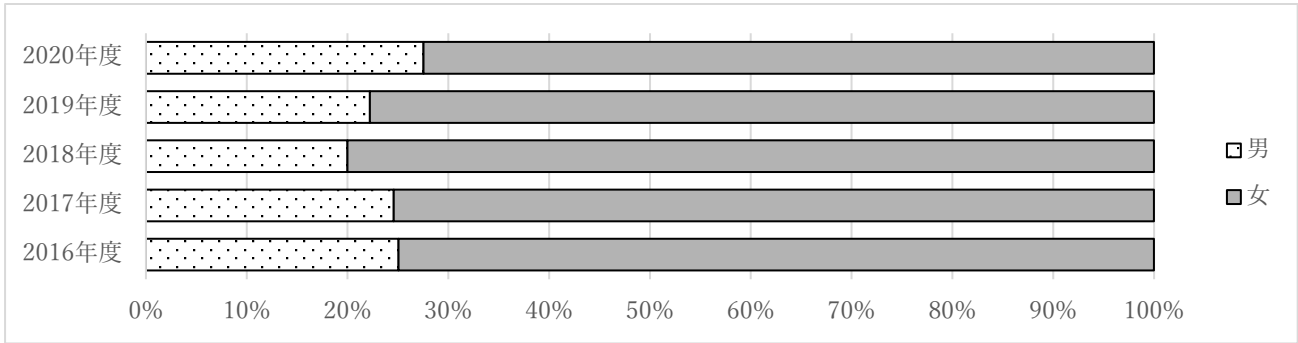
○「話を聴いてほしい」が73.1% (男子、「答えが欲しい」が18.4%)、「誰かとつながりたい」と「お試し」がともに3.2%であった。子どもは「解決策」を求めるのではなく、自分の話を誰かに聞いてほしいと思っていることが窺われる。



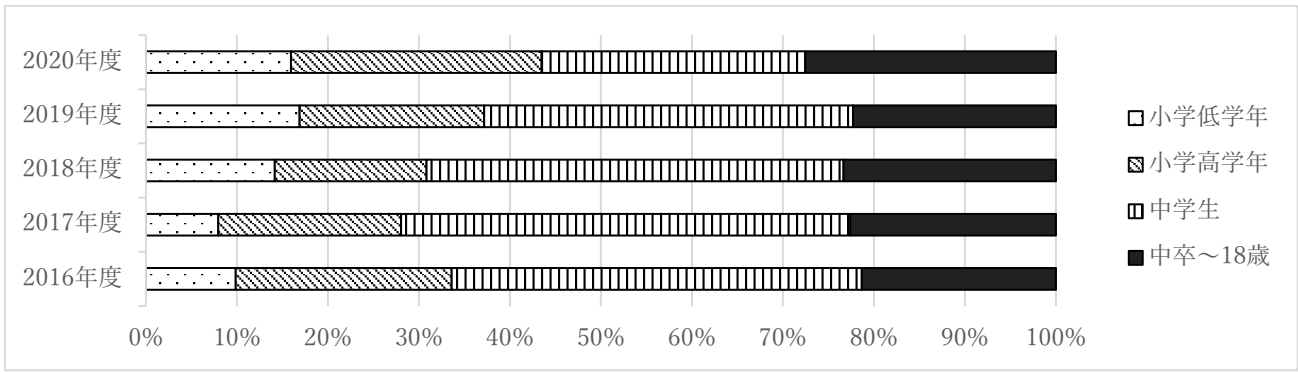
⑤いじめ 年度別件数（学校・フリースクール、部活、ネットトラブル、職場の各項目から集計）



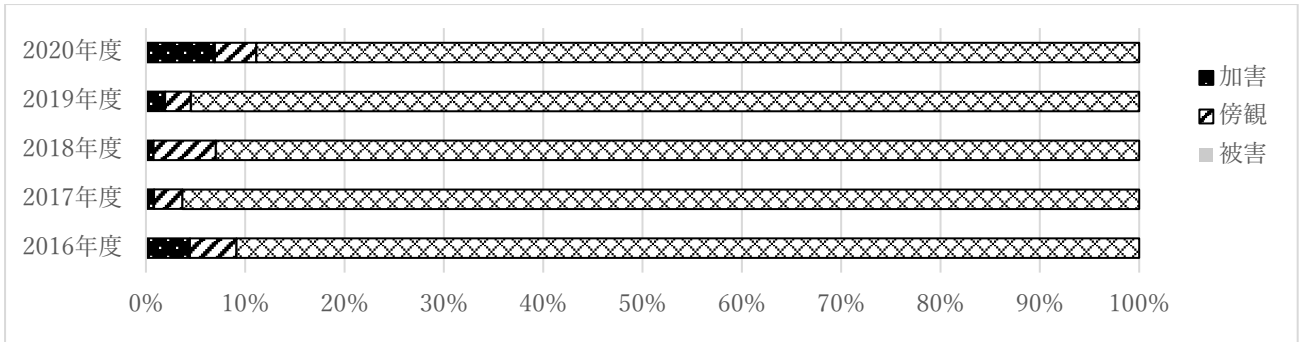
○年度別男女（不明は除く）



○年度別年齢（不明は除く）

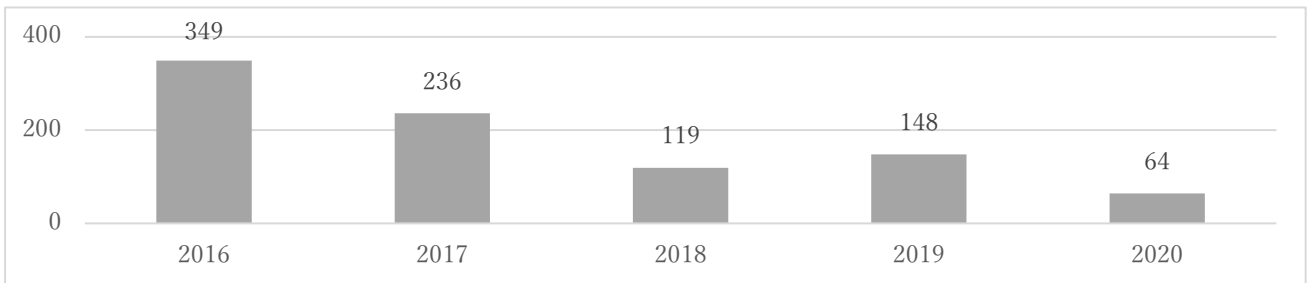


○「いじめ」の内訳

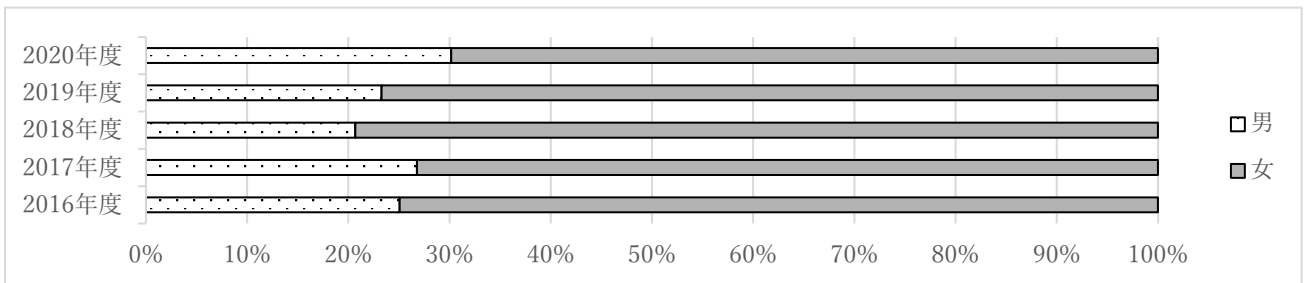


- 「いじめ」の話の中で「被害」を受けている話が圧倒的に多い。
- いじめの加害者からも電話を受けるが、気持ちを丁寧に聞くことにより自分自身を振り返り、「やめたい」「やめよう」となることがある。

○いじめ被害



「いじめ」被害の男女別割合

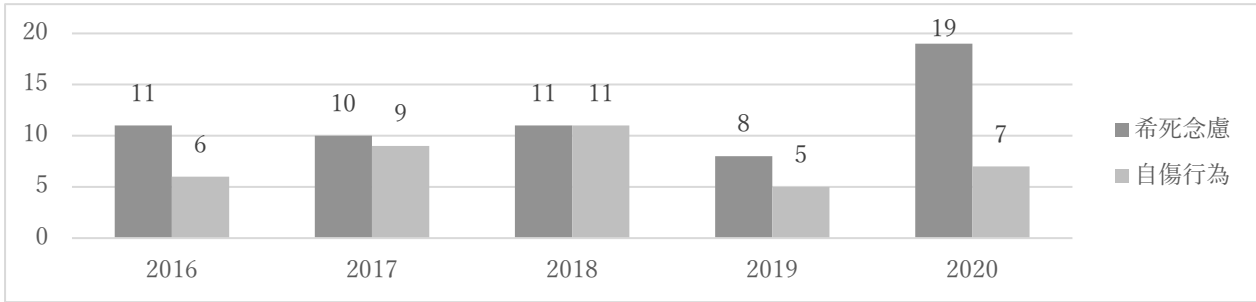


- チャイルドランに寄せられる子どもからの「いじめ」も関する件数は少なくなりつつあるが、女子からの件数が70%を超え、中学生が多かったが2020年度は小学生（低学年・高学年合わせると）の割合が40%を超えている。
- 「いじめ」の話の中で被害を受けている話が圧倒的に多いが2016年度より減少している。
- 「いじめ」で被害を訴える性別は女子が70%を超えている。女子の方が話やすいのかもしれない。

⑥希死念慮（子どもが「死にたい」「生きていたくない」と伝えていたもの）

自傷行為（子どもが自ら自傷行為をしていると伝えてきたもの）

- 「希死念慮」と「自傷行為」についての年度ごとの件数（性別、年齢不明含む59件より）



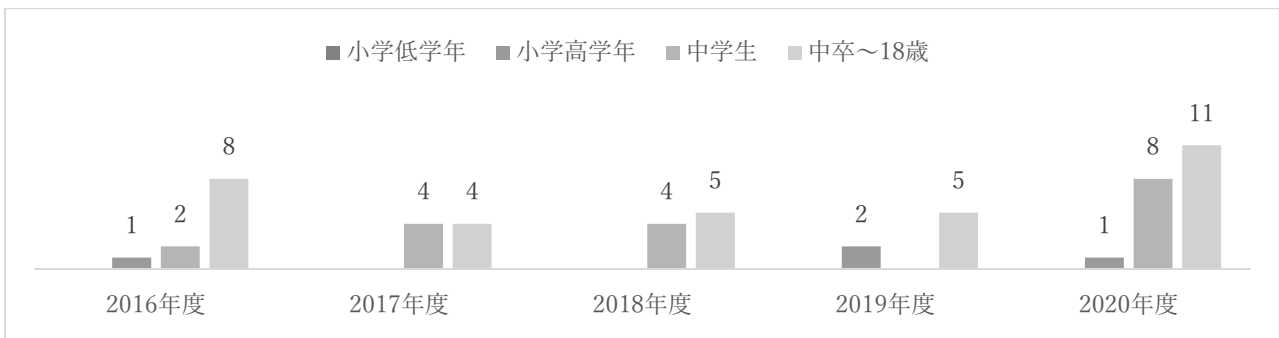
○「希死念慮」は2019年度までは、10件前後と横ばいだったが、2020年度に倍増している。

件数は増えているが、同じ子どもが何度かかけている可能性もあり人数が増えたとは限らない。

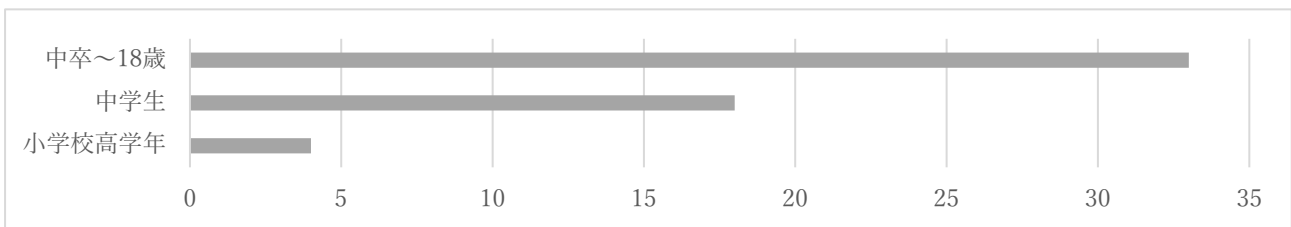
○子どもは「死にたい」と訴えて、「話を聴いてほしい」「誰かとつながってほしい」思いを話し始める。

丁寧に話を遮ることなく聴いていく大切さを感じる場面である。

希死念慮 年齢別 55件より

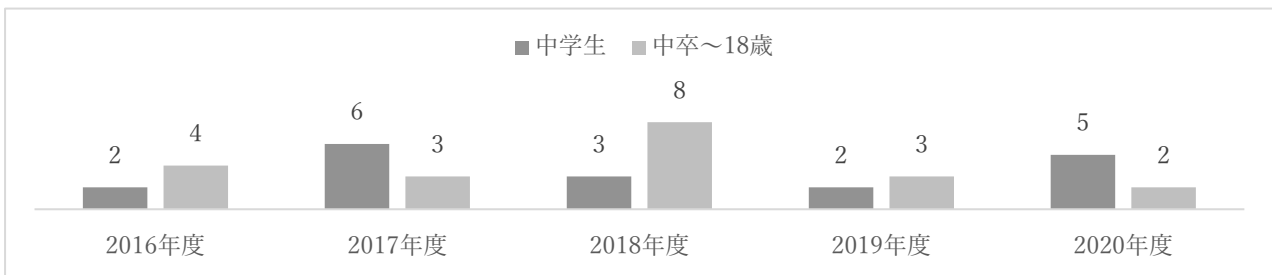


5年間合計 55件より



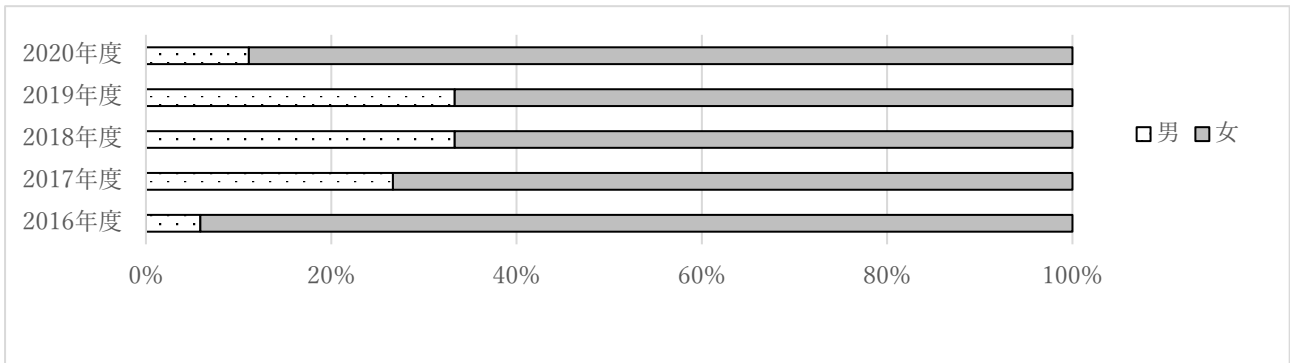
○「死にたい」「死んでもいい？」と発する子どもは小学高学年からいて、一難多いのは「中卒～18歳」である。

自傷行為 38件より（中学、中卒～18歳からのみであった）

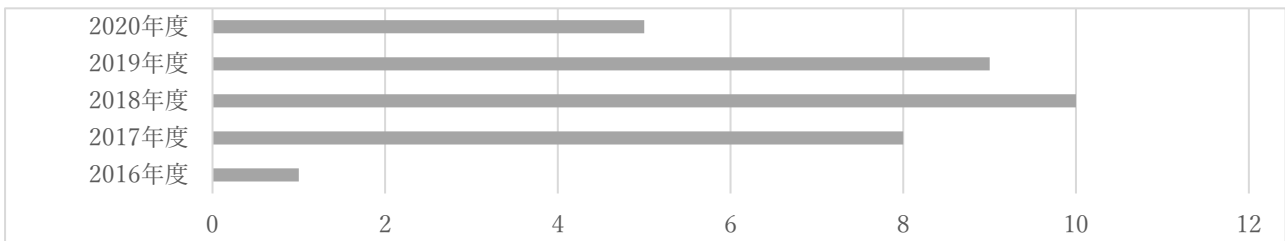


男女別

○男子より女子の方が「希死念慮」「自傷行為」を訴える件数は多い。女子の方が「死にたい気持ち」を言語化でき、誰かに話すことで行動に移さずに済んでいるのかもしれない。逆に男子は、なかなか話ができず一人で抱えているとも考えられる。



⑦貧困 受け手が子どもとの話のなかで背景に貧困を感じたもの



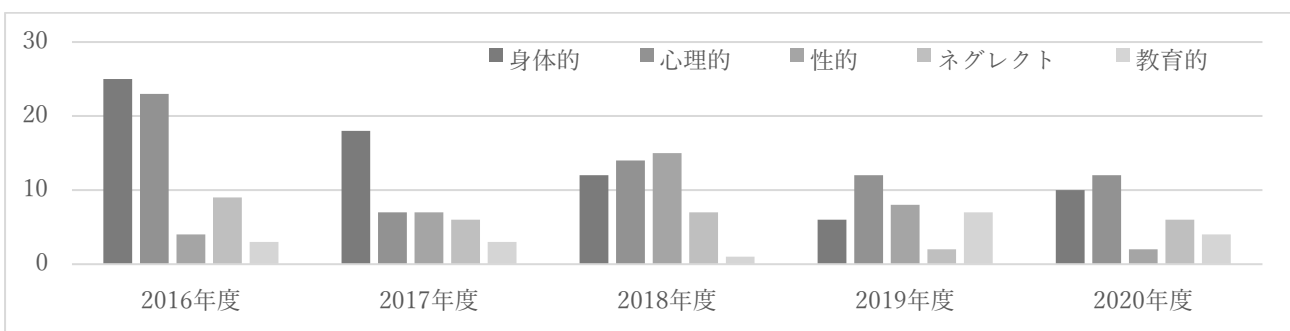
○子どもの話から受け手が背景として感じ取った「貧困」は、2018年度が一番多い。

○2020年度はコロナ禍で「貧困」の問題が社会的に取り上げられているが、子どもは家庭状況を理解し我慢しているのかもしれない。

⑧虐待 子ども自身が訴えたものと受け手がとらえたもの

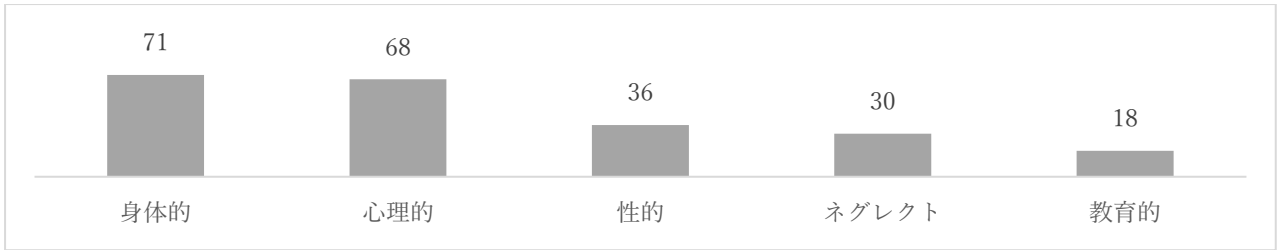
○虐待は「身体的」「心理的」「性的」「ネグレクト」「教育的」に分けている。

チャイルドラインでは「教育的虐待」の項目を設定し、子ども自身がどう感じているか「強制的学習」や「押しつけ」の把握に努めている。



○性的虐待も一定数あるが、話しにくい相談であることや虐待とは明確にとらえていない等、受け手が感じてデータ化するケースも多い。

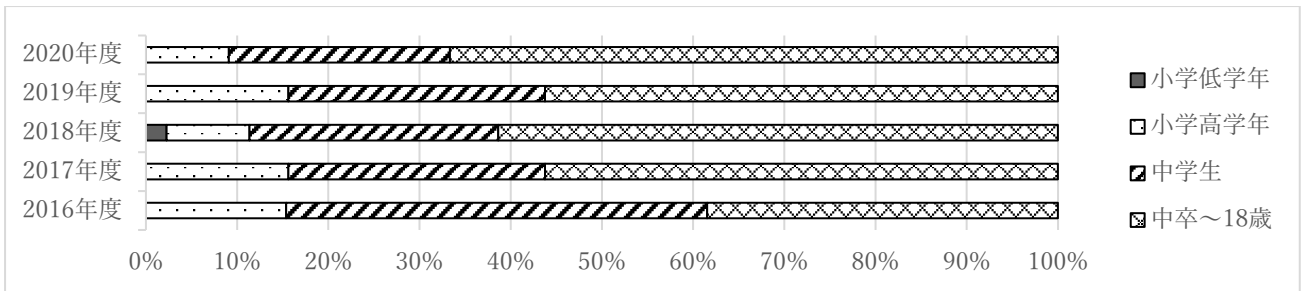
5年間合計 223件より



○身体的より心理的虐待が増えている。ネグレクトは2020年度に他の年度より多い。

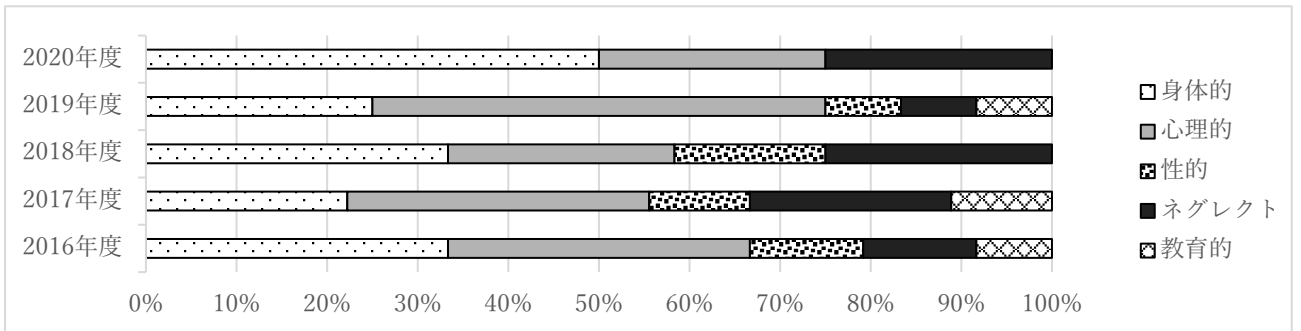
○近年「虐待」に関する事件報道などで子ども自身が「これは虐待では」と訴えるケースも増えてきた。

年齢別



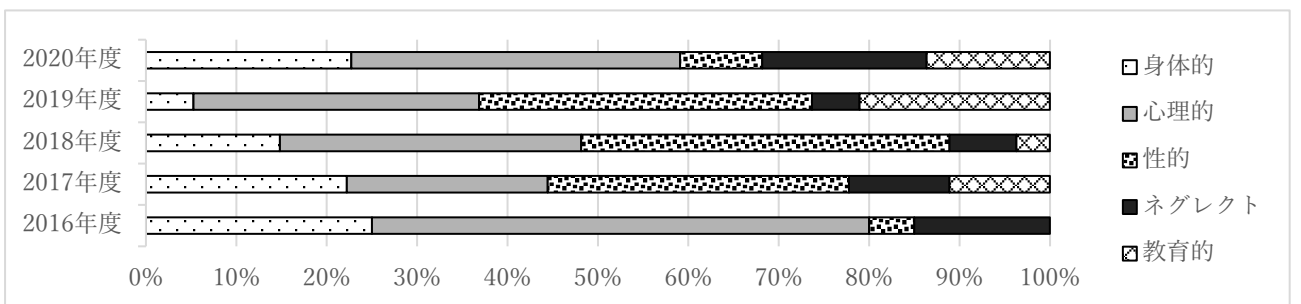
○年齢は中卒～18歳が多く、次いで中学生が続く。下記に「中学」と「中卒～18歳」内訳を記載。

中学生の内訳



○2019年度は心理的が多かったが、2020年度は身体的、ネグレクトの割合が増えている。

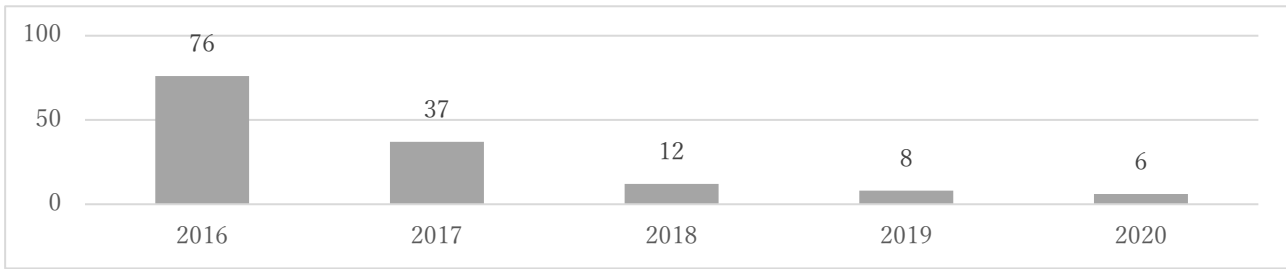
中卒～18歳までの内訳



○2016年度と2020年度は少ないが、性的虐待が多い。

○2020年度は中学とは異なり心理的虐待の割合が増えている。

○学校での体罰



○2016年度までは「大人と思われる頻回」の主訴が、学校における「体罰」であった。妨害電話対策により2017年以降減少している。

⑨コロナ禍から見えるもの

北海道は2020年2月より新型コロナウイルスの感染が広まった。2020年4月には「緊急事態宣言」が発令され、学校が休校になり外出の自粛が求められ、職場にリモートワークの導入が進み家族が自宅で仕事をする状態も増え、子どもの生活環境が大きく変化したと思われる。

その中でチャイルドラインに電話をかけることが以前より難しくなったことが考えられる反面、「家庭での人間関係」や「友人と話ができない」ストレスを抱え「話を聴いてほしい」とかけてくる子どもがいたことも確認されている。

全国に新型コロナの感染が拡大したことで、実施団体の「受け手の安心安全」の確保が課題となり、受信活動休止の判断をせざるを得ない時期があり、一時的に全国で回線数が減少してしまった。全国での実施時間は、2019年度38,966時間から2020年度30,645時間と8,321時間減少し、総通話時間は17,603時間から15,152時間となり2,451時間減少している。

チャイルドラインほっかいどうの総通話時間では、2019年度459時間57分、2020年度350時間58分となり2019年度に比べると76.3%に減少している。

子どもからの電話発信件数は、北海道でコロナの感染拡大による自粛が続いた時期に増えていて「誰かに話を聴いてほしい」「誰かと話したい」思いが窺われる。

「主訴」では、2020年度に「自分自身のこと」が50%を超え、「学校」が30%と減っているのは、コロナ禍で友人とも遊べず、部活も休止、学校行事も中止となり、この時期に自分自身に関して考える時間が増えたと考えられる。子どもにとっての学校生活環境の変化について、「学校が休みになったのは、最初は嬉しかったけど、今は早く学校に行きたい」「友達と会えないのはつまらない」「家では勉強に集中できない、図書館も閉まっている」などの声が届いており、学校での先生や友人との人間関係の話から家庭内の人間関係の話が増えており、今後さらに複雑な思いが届くと思われる。

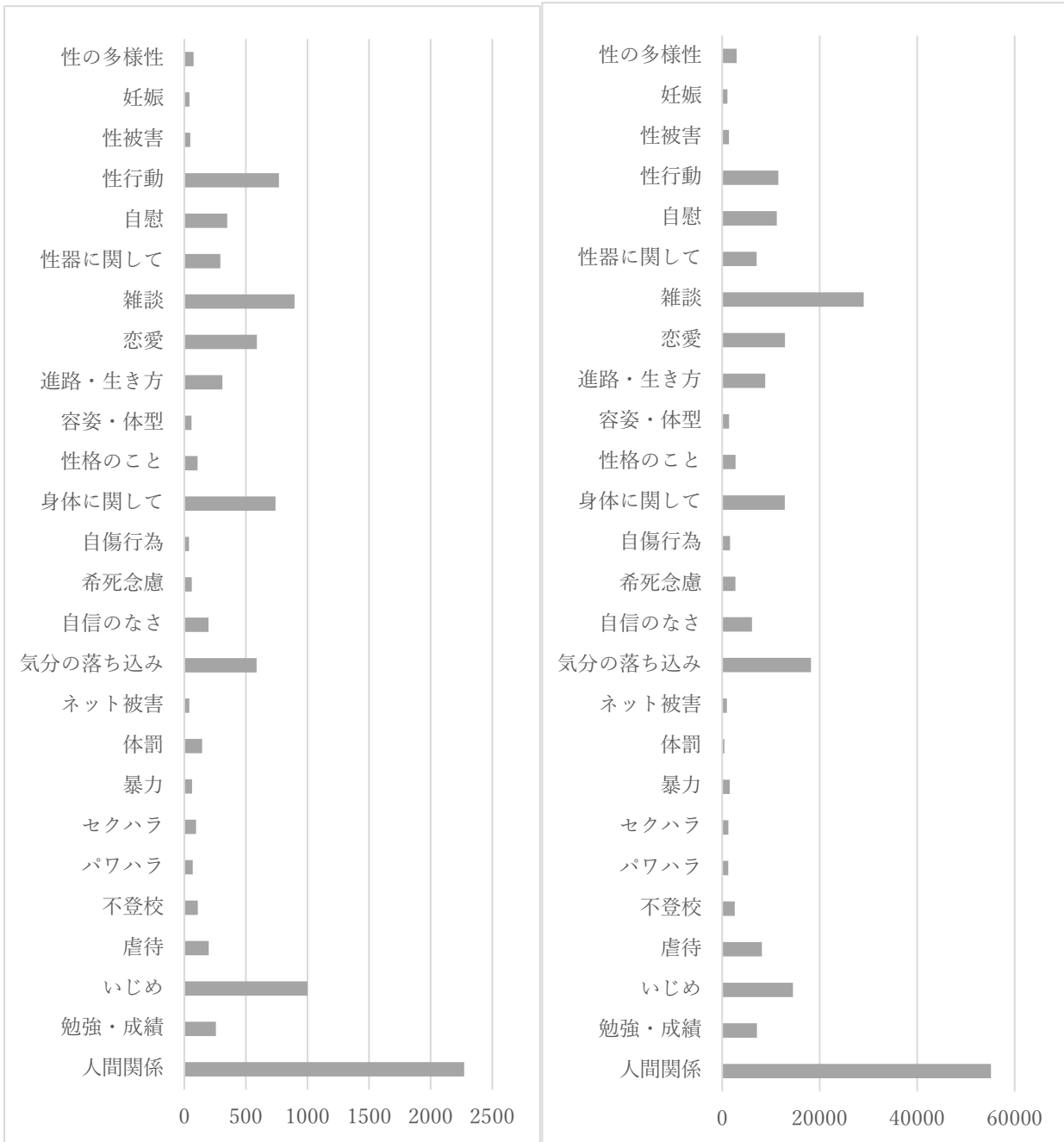
各種報道ではコロナ禍で「子どもの自殺」の増加が取り上げられているが、2020年度の「希死念慮」の訴えは例年より増加しているが、件数は増えても同じ子どもが何度も訴えている可能性も考えられる。また、「虐待」の増加について、チャイルドラインに寄せられる内容として件数は増えていない。

4. 北海道と全国との比較 ※下記グラフの左が北海道、右が全国

2016年度から5年間を集計して、データ項目を取り出し北海道と全国のデータの一部を比較した。

学校、部活、家庭、ネット、職場（バイト先含む）、地域（習い事）、自分自身のことなどから同じ項目「人間関係」「いじめ」「虐待」体罰」を取り上げた他、「性」「自分自身のこと」など、26項目を取り上げ全国のデータと比較した。

どちらも「人間関係」「雑談」「気分の落ち込み」の割合が多く、北海道は「いじめ」「身体に関して」が続き、「性行動」の割合は全国より高い。「雑談」は「本当に聞いてくれるのか」の入り口でもある。



III. チャイルドラインカードの配布状況

チャイルドラインの電話番号（フリーダイヤル）、チャットの QR コードや開設時間などを記載したカードを、道内の小学校、中学校、高校、特別支援学校に通う子どもたちを対象に、北海道教育委員会と札幌市教育委員会に事前に協力を依頼し、各学校で子どもの手に届けている。

市町村立校は各市町村教育委員会に送付し、道立、国立、私立校には直接送付した。

年度比較表

| 年度 | カード配布枚数 | | | | | | | 札幌市 児童会 館 | ポスタ ー | 広 報 誌 |
|------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|-----------------|----------|----------|
| | 総計 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 特別支 援 | 点字墨 字 | チャッ ト | | | |
| 2016 | 430,740 | 279,390 | 151,350 | — | — | — | — | — | 2,493 | 2,133 |
| 2017 | 583,245 | 268,230 | 143,530 | 143,400 | 6,910 | 175 | — | 21,000 | 2,586 | 2,378 |
| 2018 | 576,635 | 265,580 | 143,200 | 139,770 | 6,910 | 175 | — | 21,000 | 2,554 | 2,346 |
| 2019 | 571,425 | 263,360 | 139,520 | 139,225 | 7,435 | 175 | 310 | 21,400 | 2,528 | 2,320 |
| 2020 | 559,535 | 258,380 | 135,430 | 136,290 | 7,420 | 150 | 265 | 21,600 | 2,503 | 2,295 |

注…2016年度の高校と特別支援学校、札幌市児童会館はポスターのみ送付

IV. 北海道内地域別 発信数と着信数 (NTTトラヒックデータより)

1. 北海道内地域別発信数

2. 北海道内地域別着信数

| 詳細地域 | 発 信 数 | | | | | 着 信 数 | | | | |
|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| 札幌 | 10,071 | 9,082 | 7,164 | 5,642 | 7,261 | 4,246 | 4,193 | 2,816 | 2,198 | 1,648 |
| 千歳 | 77 | 49 | 104 | 69 | 22 | 23 | 18 | 27 | 12 | 4 |
| 夕張 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 栗山 | 4 | 3 | 5 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| 芦別 | 5 | 20 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 滝川 | 34 | 10 | 55 | 41 | 11 | 11 | 5 | 12 | 19 | 4 |
| 岩見沢 | 18 | 18 | 27 | 16 | 29 | 5 | 7 | 9 | 9 | 9 |
| 当別 | 17 | 6 | 4 | 10 | 0 | 4 | 1 | 1 | 3 | 0 |
| 石狩 | 15 | 27 | 0 | 2 | 2 | 6 | 7 | 0 | 1 | 1 |
| 小樽 | 2,075 | 618 | 40 | 32 | 5 | 982 | 230 | 9 | 13 | 1 |
| 余市 | 6 | 3 | 6 | 4 | 5 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 岩内 | 14 | 20 | 6 | 3 | 1 | 4 | 4 | 3 | 0 | 0 |
| 倶知安 | 54 | 57 | 3 | 1 | 3 | 14 | 15 | 2 | 0 | 1 |
| 寿都 | 0 | 7 | 2 | 0 | 9 | 0 | 4 | 0 | 0 | 3 |
| 南茅部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 森 | 12 | 0 | 0 | 53 | 12 | 3 | 0 | 0 | 27 | 0 |
| 八雲 | 8 | 7 | 1 | 3 | 1 | 5 | 3 | 1 | 0 | 1 |
| 今金 | 1 | 40 | 1 | 8 | 0 | 1 | 6 | 1 | 2 | 0 |
| 函館 | 375 | 356 | 470 | 371 | 165 | 100 | 108 | 188 | 139 | 38 |

| | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|
| 木古内 | 3 | 0 | 0 | 3 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 松前 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 江差 | 14 | 10 | 11 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 奥尻 | 1 | 2 | 4 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 |
| 熊石 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 伊達 | 26 | 24 | 15 | 2 | 4 | 4 | 7 | 3 | 1 | 0 |
| 室蘭 | 47 | 44 | 22 | 14 | 26 | 13 | 17 | 8 | 4 | 10 |
| 苫小牧 | 112 | 122 | 62 | 80 | 16 | 29 | 36 | 19 | 20 | 4 |
| 早来 | 2 | 21 | 6 | 3 | 1 | 1 | 3 | 3 | 2 | 0 |
| 鷓川 | 6 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 門別富川 | 2 | 10 | 19 | 8 | 5 | 0 | 6 | 1 | 2 | 2 |
| 浦河 | 7 | 4 | 7 | 10 | 0 | 2 | 0 | 2 | 4 | 0 |
| 静内 | 12 | 22 | 10 | 4 | 3 | 3 | 5 | 2 | 1 | 2 |
| えりも | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 斜里 | 36 | 10 | 6 | 0 | 2 | 3 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 網走 | 21 | 10 | 16 | 10 | 60 | 10 | 3 | 10 | 4 | 38 |
| 美幌 | 18 | 7 | 2 | 3 | 1 | 6 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 根室 | 7 | 1 | 9 | 5 | 10 | 2 | 0 | 2 | 1 | 4 |
| 厚岸 | 10 | 6 | 0 | 4 | 0 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 中標津 | 80 | 37 | 17 | 13 | 10 | 42 | 16 | 10 | 4 | 1 |
| 根室標津 | 0 | 4 | 2 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 釧路 | 2,035 | 3,193 | 3,143 | 3,833 | 1,582 | 752 | 1,437 | 1,447 | 1,903 | 461 |
| 白糠 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 弟子屈 | 2 | 7 | 1 | 0 | 7 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 帯広 | 495 | 290 | 65 | 71 | 21 | 150 | 172 | 25 | 26 | 6 |
| 十勝池田 | 4 | 2 | 0 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 3 | 1 |
| 広尾 | 7 | 0 | 2 | 2 | 7 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 本別 | 28 | 29 | 1 | 17 | 0 | 10 | 11 | 1 | 5 | 0 |
| 上士幌 | 17 | 2 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 十勝清水 | 2 | 3 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| 北見 | 317 | 278 | 143 | 212 | 172 | 59 | 103 | 43 | 64 | 48 |
| 紋別 | 889 | 148 | 57 | 14 | 17 | 298 | 1 | 8 | 0 | 1 |
| 遠軽 | 0 | 1 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| 中湧別 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 興部 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 稚内 | 4 | 4 | 3 | 4 | 7 | 1 | 3 | 0 | 1 | 1 |
| 天塩 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |

| | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 浜頓別 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 北見枝幸 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 利尻礼文 | 0 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| 石狩深川 | 1 | 16 | 5 | 0 | 5 | 0 | 6 | 0 | 0 | 2 |
| 留萌 | 10 | 5 | 5 | 12 | 0 | 1 | 4 | 3 | 4 | 0 |
| 羽幌 | 4 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 焼尻 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 士別 | 6 | 3 | 17 | 9 | 5 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| 名寄 | 37 | 23 | 25 | 9 | 2 | 5 | 11 | 5 | 3 | 2 |
| 美深 | 0 | 1 | 6 | 8 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| 上川 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 |
| 旭川 | 5,331 | 2,308 | 1,054 | 1,803 | 4,194 | 1,892 | 887 | 413 | 719 | 743 |
| 富良野 | 18 | 4 | 8 | 18 | 6 | 7 | 1 | 2 | 2 | 2 |

V. カードの紹介

小学生用・裏表

チャット相談はこちら

18歳までの子どもがかけられる
チャイルドライン

0120-99-7777

電話代はかかりません 携帯・スマホ OK まいにちの 午後4時～午後9時

主催：特定非営利活動法人チャイルドラインほっかいどう 後援：北海道・札幌市・北海道教育委員会・札幌市教育委員会

チャイルドラインって？

18歳までの子どもがかけられる子ども専用電話です。
困っているとき、悩んでいるとき、嬉しいとき、
なんとなくだれかと話したいとき、
かけてみてください。

- ヒミツはまもるよ
- どんなことでも、いっしょに考えるね
- 名前は言わなくていいんだよ
- 電話を切りたいときには、切っていいからね

ファイターズ基金助成事業

中学生用・裏表

子どもの声に、耳をすます電話

チャイルドライン

0120-99-7777

毎日の 16:00～21:00
電話代無料 / 携帯・スマホ OK

チャット相談はこちら

主催：特定非営利活動法人チャイルドラインほっかいどう 後援：北海道・札幌市・北海道教育委員会・札幌市教育委員会

悩みは、言葉にした瞬間、小さくなる。

チャイルドラインは、どんな悩みも受け止める、18歳までの子どもがかけられる無料の電話。

チャイルドラインの約束

- 秘密は守る。
- どんなことでも、一緒に考える。
- 名前は言わなくてもいい。
- 電話を切りたいときは切っていい。

ファイターズ基金助成事業

高校生用・裏表

18歳までのあなたの声に、耳をすます電話

チャイルドライン

0120-99-7777

毎日 午後4時～午後9時
電話代無料 / 携帯・スマホ OK

チャット相談リンク

主催：特定非営利活動法人チャイルドラインほっかいどう 後援：北海道・札幌市・北海道教育委員会・札幌市教育委員会

悩みは、言葉にした瞬間、小さくなる。

チャイルドラインは、どんな悩みも受け止める、18歳までの子どもがかけられる無料の電話。

チャイルドラインの約束

- 秘密は守る。
- どんなことでも、一緒に考える。
- 名前は言わなくてもいい。
- 電話を切りたいときは切っていい。

中高生まなぶん
(株)北海道新聞社助成事業 manabun@hokkaido-np.co.jp

VI. チャイルドラインほっかいどう 活動紹介

1. 設立から現在まで

- 2003年2月 チャイルドラインさっぽろ設立準備会結成
5月 「2003子どもの日全国キャンペーン」に特設団体として3日間参加
7月 「チャイルドラインさっぽろ」設立総会開催（任意団体）
8月 「第1期受け手養成研修」実施 ※以降06年度を除き毎年実施
2004年7月 道内初の子ども専用電話「チャイルドライン」を開局（番号011-272-3756）
12月 NPO法人設立総会を開催（翌年2月28日認証証書受領）
2007年10月「さっぽろ」独自のフリーダイヤル（0120-7-26266）実施
2009年5月 チャイルドライン全国ネットワークに参加
（フリーダイヤル 全国共通0120-99-7777）
2013年1月 「認定NPO法人」資格取得
2014年12月 子ども専用電話回線を増設
2017年5月 法人名を「特定非営利法人チャイルドラインほっかいどう」に名称変更
2019年9月 オンラインチャット・トライアル開始
2021年5月 オンラインチャット事業化開始
2021年7月 子ども専用電話 毎週 月曜日・水曜日、第2日曜日 16～21時
オンラインチャット 月3回 16～21時 実施
第18期受け手養成研修実施（2021年7月より）

受け手研修の取り組み

子どもからの電話を受けるには「受け手養成研修」「インターン研修」を終了し認定されて「受け手」となります。

養成研修 1期（2003年）～17期（2020年）終了認定者 222人

インターン研修 1期（2004年）～16期（2020年）終了認定 170人

認定後 受け手継続研修 毎月1回実施

2. 電話受信体制状況

5年間実施体制

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------|----------|----------|------------|----------|----------|
| 開設日数 | 95日 | 95日 | 93日 | 91日 | 97日 |
| 通話時間 | 565時間36分 | 571時間58分 | 619時間15.5分 | 459時間57分 | 350時間58分 |
| 担当人数 | 815人 | 856人 | 899人 | 692人 | 542人 |

電話番号の経過

2004年7月～2007年9月 有料の固定電話（011-272-3756）

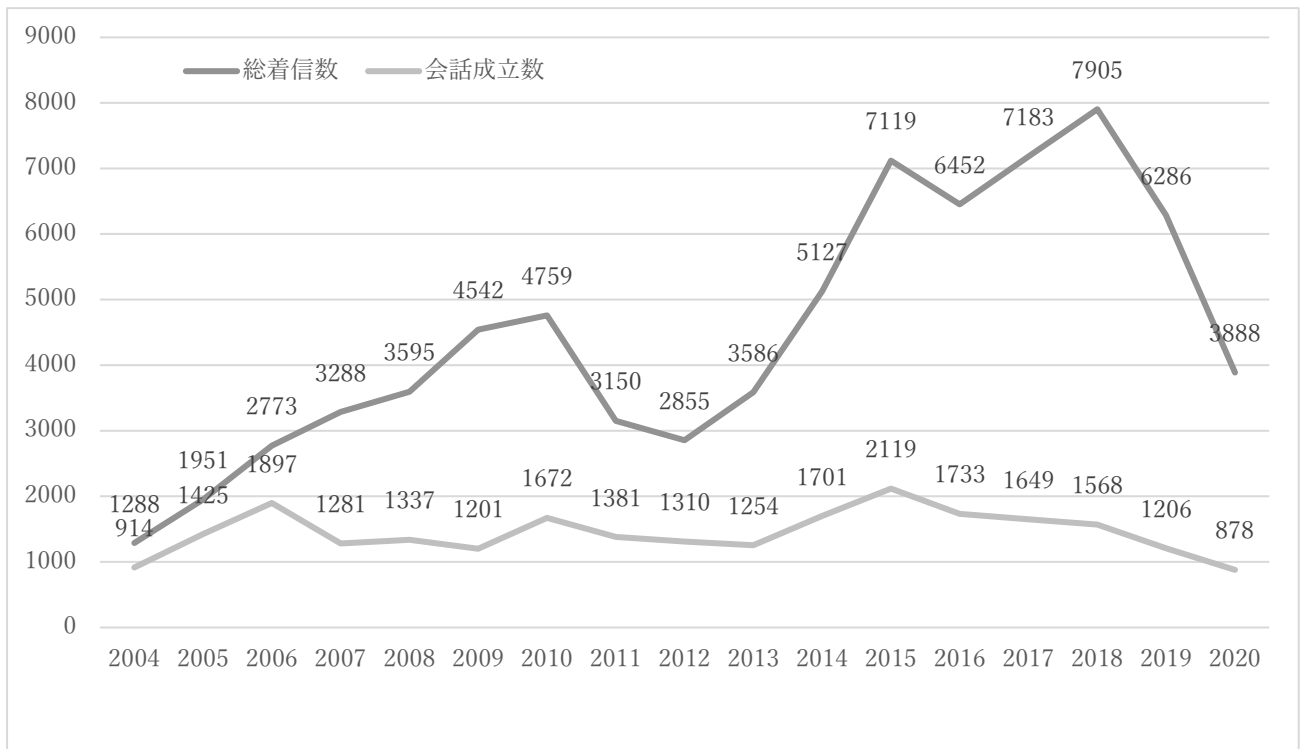
2007年10月～2009年4月 独自のフリーダイヤル（0120-7-26266）

2009年～現在 全国共通フリーダイヤル（0120-99-7777）

開設日・回線数の経過

- 2004年 毎週の月曜日と水曜日 16時～21時
- 2013年4月 平日 月曜日と水曜日 16時～21時
- 2019年5月 第2日曜日追加
- 2014年12月 原則2回線実施
- 2020年4月20日～5月末 新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動休止
6月以降 1回線で実施中

開設から2020年までの受信件数



開始時から徐々に「チャイルドライン」の認知度が上がり、2011年度に「大人の頻回電話」対策で件数が一時的に減少、2014年から2回線となり再び着信件数が上昇した。2019年～2020年度はコロナ禍の為、受け手の安心安全確保のため1回線とし受信数は減っている。

3. 会員数 (年度末3月31日時点)

| | | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 正会員 | | 109人 | 110人 | 102人 | 100人 | 124人 |
| 賛助会員 | 一般会員・個人 | 15人 | 16人 | 14人 | 16人 | 15人 |
| | 一般会員・団体 | 13団体 | 13団体 | 13団体 | 15団体 | 14団体 |
| | サポート会員 | 64人 | 57人 | 53人 | 52人 | 52人 |

4. 決算状況

単位：円

| | | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 収 入 | 会費 | 299,000 | 274,000 | 273,000 | 278,000 | 312,000 |
| | 賛助費 | 366,000 | 287,000 | 259,000 | 404,000 | 346,000 |
| | 寄付金 | 1,392,656 | 1,073,640 | 867,466 | 1,627,550 | 896,489 |
| | 助成金 | 400,000 | 772,160 | 595,600 | 760,000 | 1,003,515 |
| | 事業収入 | 406,000 | 473,000 | 241,000 | 389,000 | 299,000 |
| | その他 | 152,226 | 80,176 | 70,744 | 149,558 | 39,121 |
| | 合計 | 3,015,882 | 2,959,976 | 2,306,810 | 3,608,108 | 2,896,125 |
| 支 出 | 事務所経費 | 962,221 | 930,894 | 1,034,613 | 1,078,878 | 851,465 |
| | 人件費 | 280,528 | 304,812 | 295,265 | 299,928 | 334,929 |
| | 研修経費 | 349,992 | 510,967 | 436,490 | 256,504 | 119,110 |
| | カード・広報 | 550,448 | 1,004,397 | 705,262 | 870,402 | 972,261 |
| | その他 | 75,651 | 68,700 | 82,456 | 292,591 | 695,236 |
| | 合計 | 2,218,840 | 2,819,770 | 2,554,086 | 2,798,303 | 2,973,001 |
| 差額 | | 797,042 | 140,206 | ▲247,276 | 809,805 | ▲76,876 |
| 正味財産 | | 1,495,956 | 1,636,162 | 1,415,049 | 2,264,291 | 2,186,415 |

※ 収入内容

会費：活動に参加する正会員

賛助費：一般会員個人・団体、サポート会員

事業収入：広報誌広告・養成・インターン研修受講料

その他：募金箱など

支出内容

事務所経費：家賃・光熱費・コピー機等リース代・書籍代・事務用品など

研修経費：講師料・会場費・交通費など

カード・広報：カード作成及び配布に関する費用・広報誌・送料

その他：ボランティア保険・諸会費など

| | | | |
|--------|-----------------|----------------|------|
| 発行日 | 2021年（令和3年）8月2日 | | |
| 発行 | 特定非営利活動法人 | チャイルドラインほっかいどう | |
| 発行責任者 | 代表理事 | 児玉芳明 | 田辺毅彦 |
| 分析・まとめ | 常務理事・事務局長 | 水口良子 | |
| 協力 | 古川譲二、小川節子 | | |
| 校正協力 | 渋谷千秋 | | |

